

会 告 目 次

坂井記念特別賞候補者の募集について	2
研究発表会開催通知	
第 67 回 マルチメディア通信と分散処理研究会	3
第 67 回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	4
第 101 回 計算機アーキテクチャ研究会	5
第 54 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	5
第 4 回 音声言語情報処理研究会	6
第 72 回 グラフィクスと CAD 研究会	6
第 7 回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会	7
平成 6 年度山下記念研究賞の表彰	10
雑 報	19
第 48 回全国大会奨励賞の表彰	20
「情報ネットワーク (IEEE ICOIN) ワークショップ」参加者募集	21
情報処理学会「行事」・「書籍」申込書	22
「グループウェア '94 シンポジウム」参加者募集	23
書評・ニュース募集のお知らせ	24
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム' 94 及び併設講習会」参加者募集	25
「第 36 回プログラミング・シンポジウム」参加者募集	27
「1995 年情報学シンポジウム」参加者募集	30
CALL FOR PAPER Pacific Graphics'95	32
情報処理学会シンポジウム, 講習会等論文集リスト(91,92,93,94 年版)	33
支部だより	34
本会協賛等の行事案内	36
ACM, IEEE-CS 入会の特典	37
会費・購読費の預金口座自動振替をぜひご利用ください	38
預金口座振替依頼書	39
海外からの送金方法について	40
教官募集	41
会費・購読費の預金口座自動振替納入について	44
平成 6 年度会費・購読費の納入について (お願い)	44
会議案内	45
編集室	46

坂井記念特別賞候補者の募集について

第3回（平成6年度）坂井記念特別賞の候補者を募集いたします。

賞の候補者は、情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野の研究・開発に携わっている研究・開発者で、学術・技術の進歩に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展に期待がもてる39歳（平成7年3月末現在）までの研究・開発者を対象といたします。

賞の候補者を推薦される方は、下記の「坂井記念特別賞候補者推薦要領」を参照のうえ、本学会事務局まで「坂井記念特別賞候補者推薦書」用紙をご請求ください。

第3回（平成6年度）

坂井記念特別賞候補者推薦要領

●対象分野 情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野とする。

●候補者の対象

情報処理に関する分野の研究・開発に従事し、その成果が顕著であると認められ、今後、学術・技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究・開発を活発に行っている本学会正会員で39歳（平成7年3月末現在）までの若手研究・開発者とする。なお、候補者は個人または、共同研究・開発の場合は、その代表者とする。

●推薦者 本学会正会員とする。

●推薦手続 所定の推薦用紙に必要事項を記載し、当学会あて1部を提出する。

●推薦締切日 平成7年1月17日（火）必着とする。

●選考方法 学会内に坂井記念特別賞候補者選定委員会を設け、候補者4名を選定し、理事会において決定する。なお、選考の過程で、推薦者または候補者に照会する場合があります。

●賞の贈呈 平成7年5月の第37回通常総会で表彰（賞状および賞金30万円を贈呈）

注）この賞の候補者を推薦される方は、下記あて推薦用紙をご請求ください。

（推薦書用紙請求先・提出先・照会先）

（社）情報処理学会 坂井記念特別賞担当係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

研究発表会開催通知

(平成6年11月15日～12月31日)

研究会名	日 時		会 場	詳細
人 工 知 能	11月15日 (火)	14:00～16:30	情報処理学会(芝浦)	前号 3頁
自 然 言 語 処 理	11月17日 (木) 11月18日 (金)	9:45～16:00 9:45～16:30	N E C (関 西)	4頁
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	11月18日 (金)	9:00～17:30	機 械 振 興 会 館	4頁
ア ル ゴ リ ズ ム	11月18日 (金)	9:00～17:30	東 北 大	5頁
人 文 科 学 と コ ン ピ ュ ー タ	11月18日 (金)	10:00～16:40	沖 縄 県 立 図 書 館	5頁
記 号 処 理	11月18日 (金)	13:00～17:15	豊 橋 技 科 大	6頁
音 楽 情 報 科 学	11月19日 (土) 11月20日 (日)	9:00～17:30 9:30～12:10	沖 縄 芸 大	6頁
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	11月24日 (木)	9:20～17:30	信 州 大	7頁
マルチメディア通信と分散処理	12月 2日 (金)	9:30～16:50	情報処理学会(芝浦)	本号 3頁
システムソフトウェアと オペレーティング・システム	12月 8日 (木) 12月 9日 (金)	9:30～16:45 9:30～17:45	京 大 会 館 京 都 工 繊 大	4頁
計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	12月13日 (火)	10:00～17:00	石川ハイテク交流センター	5頁
ハイパフォーマンスクンピューティング	12月14日 (水)	10:30～17:30	慶 大 (三 田)	5頁
音 声 言 語 情 報 処 理	12月15日 (木) 12月16日 (金)	10:00～16:40 9:00～16:40	N T T (横 須 賀)	6頁
グ ラ フ ィ ク ス と C A D	12月16日 (金) 12月17日 (土)	9:30～17:50 9:00～17:20	岡 山 理 科 大	6頁
オーディオビジュアル複合情報処理	12月22日 (木)	10:30～16:30	早 大 (理 工)	7頁

◆第 67 回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 12 件)

(主査: 白鳥則郎, 幹事: 鈴木健二, 滝沢 誠, 寺中勝美)

日 時 平成 6 年 12 月 2 日 (金) 9:30～16:50

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F, JR: 田町 (東口) 下車, 徒歩 7 分。または地下鉄 (浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩 10 分。Tel.(03)5484-3535]

議 題

— 9:30～12:00 —

- (1) オンラインマルチメディア情報取引基盤「ねっといちば」 櫻井紀彦, 山中康史, 藤井 寛 (NTT)
- (2) ε - 因果関係保存グループ通信 (ε CO) プロトコル 立川敏行, 滝沢 誠 (電機大)
- (3) 携帯端末とインターネットメールとのマルチメディア交換方式
近藤貴士, 花田恵太郎, 三好 力, 千葉 徹 (シャープ)
- (4) VisuMotion: コミュニケーションのための情報の内容の構造化方式の一考察 宮地泰造, 白鳥則郎 (東北大)
- (5) OSI 適合性試験項目の複雑度による評価 若杉忠男 (技術コンサルタントオフィス)

— 13:00～16:50 —

- (6) 遺伝子的操作による分散協調型ルーティングとその評価 天野美樹, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)

- (7) 内部状態モデルに遺伝子的操作を導入した動的負荷分散 棟朝雅晴, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)
- (8) パケットオーディオ・ビデオシステムのための動的なパケット間隔制御 赤間孝司, 渡辺光輝, 橋本浩二, 柴田義孝 (東洋大)
- (9) ISDN 通信会議システムにおける動的帯域制御機能の開発と評価 田中徳幸, 中屋敷進 (日立)
- (10) 通信処理サーバにおける高効率高速・多回線制御方式の検討 平田俊明, 近藤 毅, 松永和男, 高田 治 (日立)
- (11) デザイン画像データベースのためのユーザモデルに基づいた感性検索法 勝本道哲, 福田 学, 柴田義孝 (東洋大)
- (12) 分散オブジェクト開発支援用ツールキット 森 健, 乙川進一, 中澤 修 (沖電気)

◆第 67 回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 (発表件数: 26 件)
(主査: 徳田英幸, 幹事: 梅村恭司, 清水 康, 福田 晃)

日 時 平成 6 年 12 月 8 日 (木) 9:30 ~ 16:45 (会場: 京大会館)
9 日 (金) 9:30 ~ 17:45 (会場: 京都工芸繊維大学)

会 場 <8 日>: 京大会館 101 号室

[京都市左京区吉田河原町 15-9, JR: 京都下車, 市バス (駅前 A2 乗場) 祇園経由 206 系統: 東一条下車 (約 30 分), 徒歩 5 分. 四条河原町からは市バス (東行停留所) 祇園経由 201, 31 系統: 東一条下車 (約 15 分). または京阪電車: 出町柳行で丸太町下車, 徒歩 10 分. Tel.(075)751-8311]

<9 日>: 京都工芸繊維大学 大会館ホール

[京都市左京区松ヶ崎御所海道町, 京都駅前, 四条河原町 (北行停留所), 出町柳から市バス 14 系統: 工芸繊維大学前下車. Tel.(075)724-7474 (柴山)]

議 題 特集: 並列処理支援ソフトウェアシステム

12 月 8 日 (木) <京大会館> - 9:30 ~ 11:30 -

- (1) 並列計算機システム向き OS のスケジューラへの GA の適用 柿白秀雄, 新實治男, 柴山 潔 (京都工繊大)
- (2) OS レベルでのリソース・リザベーションのメディア並列処理に対する効果 松尾 聡 (奈良先端大/ミノルタ), 岡村耕二, 荒木二郎, 福田 晃 (奈良先端大)
- (3) 並列 OS "K1" の実装と性能評価 原野裕樹 (奈良先端大), 桑山雅行 (九大), 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)
- (4) 超並列オペレーティングシステムカーネル SCORE における IPC 堀 敦史, 石川 裕, Jorg Nolte (RWCP)

原田 浩, 古田 敦 (SRA), 佐藤 忠 (三菱電機東部コンピュータシステム)

- 12:30 ~ 16:45 -

- (5) 並列性と移植性を考慮したユーザレベル・スレッドライブラリ PPL の実装と評価 坂本 力 (九大)
- 宮崎輝樹 (新日鉄), 桑山雅行 (九大), 大石幸雄, 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)
- (6) 分散共有メモリ型並列計算機上のセグメントによるメモリ保護と例外処理機構

- 田村 仁, 富澤真樹, 阿刀田央一 (農工大)
- (7) ゲーム木の並列検索のための分散的実行管理機構 中山泰一, 赤澤忠文, 野下浩平 (電通大)
- (8) 動的データ駆動型処理システム Qv-x の視覚的評価支援環境

岩田 誠 (阪大), 坪田浩乃, 田村俊之, 小守伸史 (三菱電機), 寺田浩詔 (阪大)

- (9) 並列プログラムのための視覚的性能デバッガ 久野 啓, 大澤範高, 弓場敏嗣 (電通大)
- (10) 適応的再演型並列プログラムデバッガの PVM 上での実現 三栄 武, 高橋直久 (NTT)
- (11) 並列 C++ 言語システム ANUFO の並列処理機構 佐藤裕幸, 川上かおり (三菱電機)
- (12) 並列 C++ 言語システム ANUFO の同期機構 川上かおり, 佐藤裕幸 (三菱電機)

12 月 9 日 (金) <京都工芸繊維大学> - 9:30 ~ 11:30 -

- (13) 分散環境上の並列処理支援システム DYAMONDS の設計 小野文豊, 福田 晃 (奈良先端大)
- (14) 事例ベース推論による並列プログラミング支援システム 山崎勝弘, 古川知之 (立命館大)
- (15) プログラム従属性理論に基づく並列処理ソフトウェアの統合的開発支援環境の構築 笠原義晃, 程 京徳, 牛島和夫 (九大)

- (16) 並列システムソフトウェア開発のためのプログラム開発環境 早川栄一 (農工大), 下山朋彦 (キヤノン), 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

- 12:30 ~ 17:45 -

- (17) 図によるベクトルデータフロー記述言語をプログラムに変換するシステム 平原貴行, 山之上卓 (九工大), 安在弘幸 (九州共立大)
- (18) 超並列マシン上での疎行列自動圧縮方式について 大谷浩司, 安村通晃 (慶大)
- (19) 自動ベクトル化並列化コンパイラ V-Pascal Ver.3 上原哲太郎, 國枝義敏, 津田孝夫 (京大)

- (20) データ依存不確定ループの最内ループ並列化 小笠原武史, 小松秀昭 (日本 IBM)
 (21) 並列プログラミング環境における条件付きデータフロー解析と実行時情報の利用 岩沢京子 (農工大)
 (22) データ駆動型プロセッサ RAPID のソフトウェア開発環境
 田村俊之, 坪田浩乃, 小守伸史, 久間和生 (三菱電機), 岩田 誠, 寺田浩詔 (阪大)
 (23) 並列化支援環境 PCASE 渡辺幸光, 白戸幸正 (NEC 情報システムズ), 草野和寛, 蒲池恒彦, 妹尾義樹 (NEC)
 (24) 並列論理型言語 KL1 の最適化手法 大野和彦, 伊川雅彦, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)
 (25) 分散メモリ型並列計算機上の並列記号処理システム 福居宏和, 新實治男, 柴山 潔 (京都工機大)
 (26) 多重ループにおける最適ループ展開数算定技法
 古関 聡, 今野 明 (早大), 小松秀昭 (日本 IBM), 深澤良彰 (早大)

* 電子情報通信学会 (コンピュータシステム研究会) と共催。

◆第 101 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 島田俊夫, 幹事: 木村康則, 関口智嗣, 中島 浩)

日 時 平成 6 年 12 月 13 日 (火) 10:00 ~ 17:00

会 場 石川ハイテク交流センター

[石川県能美郡辰町旭台 6-8 (北陸先端科学技術大学院大学隣), JR: 金沢下車, バス: 西金沢下車, 北陸鉄道: 鶴来下車, タクシー約 10 分。または小松空港よりタクシー約 30 分。Tel.(0761)51-0106]

議 題

— 10:00 ~ 12:00 —

- (1) ロード命令の先行実行とその評価 小沢年弘 (富士通研), 西崎慎一郎 (富士通 SSL), 木村康則 (富士通研)
 (2) A Duplex Tree for Process Coordination 武末 勝 (法政大)
 (3) 並列コンピュータのための高速再配置可能結合網 Issam A. Hamid (東北芸工大)
 (4) マルチポートメモリを用いたハイパーキューブ結合マルチプロセッサの通信性能
 井口 寧, 堀口 進 (北陸先端大)

— 13:00 ~ 17:00 —

- (5) データフロー型並列処理コンピュータ LSC の構成 成田明子, 吉岡良雄 (弘前大)
 (6) データ駆動プロセッサにおけるスレッド処理についての考察 寺田秀文 (静岡大)
 (7) Self-Cleanup Cache の評価 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)
 (8) 実用並列計算モデル LogPQ の動作検討 富山孝義, 堀口 進 (北陸先端大)
 (9) 超並列計算機 nCUBE2 上のニューラルネットワークを用いた顔画像認識法
 山森一人, 阿部 亨, 堀口 進 (北陸先端大)
 (10) 超並列計算機による星型ポリマー成長モデルのシミュレーション 志田和人, 堀口 進 (北陸先端大)
 (11) グローバル通信を用いた並列 FFT アルゴリズムと超並列計算機への実装
 武田利浩, 丹野州宣 (山形大), 堀口 進 (北陸先端大)

* IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛。

* 研究会の翌日 (12 月 14 日) から ISPAN'94 (International Symposium on Parallel Architectures, Algorithms, and Networks) が同じ会場で開催されます。

◆第 54 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 野寺 隆, 幹事: 佐藤三久, 寒川 光, 長嶋雲兵)

日 時 平成 6 年 12 月 14 日 (水) 10:30 ~ 17:30

会 場 慶應義塾大学 三田校舎 北新館 第 2 会議室

[東京都港区三田 2-15-45, JR: 田町, または都営地下鉄: 三田下車, 徒歩約 10 分。Tel.(03)3453-4511]

議 題

— 10:30 ~ 12:30 —

- (1) Reaction-Diffusion Equations の Fractal 次元 大坪敏昌, 谷 温之, 野寺 隆 (慶大)
 (2) モンテカルロフィルタ (MCF) におけるランダムサンプリング 樋口知之 (統数研)
 (3) 数値プログラムの解析によりデータ形式を得て行う可視化
 真鍋保彦, Choomple Boonmee, 川田重夫 (長岡技科大)

— 13:30 ~ 17:30 —

- (4) キャリヤ生成結合項が n-MOS デバイスの数値シミュレーション上に及ぼす影響と問題点

- 青木 孝, 村田健郎 (神奈川大)
 林 亮子, 堀口 進 (北陸先端大)
 (5) 分子動力学法シミュレーションの並列化
 (6) 最近の並列化プログラミング技術について—スケーラブル並列計算機 CONVEX-Exemplar における経験を含めて—
 星野誠三 (日本鋼管)
 (7) メッセージ交換型並列計算機のための並列化コンパイラ: TINPAR —最適化手法と性能評価—
 三吉郁夫, 前山浩二, 後藤慎也, 森真一郎, 中島 浩, 富田真治 (京大)
 (8) ソーティングネットワークの研究
 黒田久泰 (京大)
 (9) 多倍長計算の HPC 技術
 太田昌孝, 前野年紀 (東工大)

◆第4回 音声言語情報処理研究会

(発表件数: 16 件)

(主査: 中川聖一, 幹事: 岡田美智男, 小林 豊, 新田恒雄)

日 時 平成 6 年 12 月 15 日 (木) 10:00 ~ 16:40
 16 日 (金) 9:00 ~ 16:40

会 場 NTT 横須賀研究開発センタ 121A 会議室

[横須賀市武 1-2356, 京浜急行: 野比下車, バス: 通信研究所または横須賀市民病院行で通信研究所下車 (10 分).
 Tel.(0468)59-2102 (会場直通)]

議 題

12 月 15 日 (木) — 10:00 ~ 12:00 —

- (1) A method for generating phoneme-context-dependence LR table and its applications in continuous speech recognition system
 李 輝 (東工大), 竹沢寿幸, シンガー ハラルト, 林 輝昭 (ATR), 田中穂積 (東工大)
 (2) ワードスポッティングに基づく意図抽出
 亀山 晋, 中里 収, 白井克彦 (早大)
 (3) Towards More Robust, Fault-Tolerant and User-Friendly Softwares Integrating Natural Language Processing Components
 Herve Blanchon, Kyung-Ho Locken-Kim (ATR)

— 13:00 ~ 16:40 —

- (4) イソップワールド—対話処理に向けて—
 岡田直之 (九工大)
 (5) 談話構造モデルによる電話相談対話の分析
 知野哲朗, 坪井宏之 (東芝)
 (6) フレーズスポッティングに基づく頑健な音声理解
 河原達也, 北岡教英, 堂下修司 (京大)
 (7) 事前説明によるシステムへの入力発話の変化と誤認識結果の人間による復元
 伊藤敏彦, 大谷耕嗣, 肥田野勝, 山本幹雄, 中川聖一 (豊橋技科大)

- (8) 見学: NTT 横須賀研究センター内の音声認識・合成関連の研究室 (16:00 ~)

12 月 16 日 (金) — 9:00 ~ 11:50 —

- (9) 母音認識ニューラルネットによる母音の弁別素性の抽出
 中尾充宏, 北澤茂良 (静岡大)
 (10) 統計的音韻中心の推定とその HMM による評価
 大川茂樹, 白井克彦 (早大)
 (11) 音素認識ネットワーク素子における音素学習区間の検討
 矢口保博, 三輪譲二 (岩手大)
 (12) 4 階層共有構造の音素 HMM
 高橋 敏, 嵯峨山茂樹 (NTT)

— 13:00 ~ 16:40 —

- (13) 最大事後確率推定と移動ベクトル場平滑化の組合せによる逐次話者・回線適応
 高橋淳一, 嵯峨山茂樹 (NTT)
 (14) 非 left-right HMM の性質に関する検討
 松尾 広, 石亀昌明 (秋田大)
 (15) 対話情報に基づいた韻律生成
 宮原 進, 山下洋一, 溝口理一郎 (阪大)
 (16) 韻律モデルを用いた F0 クラスタリングに基づくアクセント句境界検出
 中井 満 (東北大), シンガー ハラルド, 匂坂芳典 (ATR), 下平 博 (北陸先端大)
 (17) MR 画像による声道形状の三次元表示
 横山 徹, 三木信弘, 小川吉彦 (北大)

* 電子情報通信学会 (音声研究会, 言語理解とコミュニケーション研究会) と共催。

◆第72回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 5 件 (10 月 17 日現在))

(主査: 大野義夫, 幹事: 斉藤 剛, 福井一夫, 間瀬健二)

日 時 平成 6 年 12 月 16 日 (金), 17 日 (土)

会 場 岡山理科大学 理大会館 1F 理大ホール

[岡山市理大町 1-1, JR: 岡山 (新幹線口) 下車, 岡電バス: (妙善寺行) 保育所前下車 (約 30 分), 徒歩約 15 分,
 または (三野公園行) 植物園口下車 (約 30 分), 徒歩約 20 分. 岡山駅よりタクシー利用約 15 分 (1,500 円程度).
 Tel.(086)252-3161(ext. 4523 (塩野))]

議 題 特集：CG と画像処理の接点および一般

(1) 画像処理による硬貨の識別実験

太田寛志, 宝積泰史, 塩野 充 (岡山理科大)

(2) 手書き漢字認識のための Gabor 特徴

政水克典 (山口大), 内村俊二 (大島商船高専), 浜本義彦, 富田真吾 (山口大)

(3) 画像生成装置 MAGG における並列視線探索法の負荷分散について

栗野隆征, 河合利幸 (大阪電通大), 精木順一, 大西啓修 (三菱プレジジョン)

(4) 樹群形成のビジュアルシミュレーション

山下彰一, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)

(5) 多様な樹種に対応可能な樹木の生長モデル

金山知俊 (豊橋技科大), 阪田省二郎 (電通大), 増山 繁 (豊橋技科大)

* 16 日の研究会終了後, 研究室の見学を予定しています。

照会先: 間瀬健二 (NTT HI 研) e-mail: mase@nttcvg.ntt.jp Tel. (0468) 59-2870 Fax. (0468) 59-2332

* 電子情報通信学会 (パターン認識・理解研究会) と共催。上記プログラムは暫定的なもので, 開催時間および共催研究会への申し込み分を含めた最終プログラムは電子情報通信学会誌 11 月号をご覧ください。

◆第 7 回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 富永英義, 幹事: 二宮佑一, 村上仁己, 安田 浩)

日 時 平成 6 年 12 月 22 日 (木) 10:30 ~ 16:30

会 場 早稲田大学 理工学部 55 号館 N 棟 大会議室

[東京都新宿区大久保 3-4-1, JR または地下鉄: 高田馬場下車, 徒歩 10 分. Tel.(03)3203-4141]

議 題 DAVIC 12 月会合報告と関連技術および一般発表

— 10:30 ~ 12:00 —

(1) DAVIC 12 月会合報告

島村和典 (NTT)

(2) DAVIC 12 月会合における提案状況

笠原久嗣 (NTT)

— 13:00 ~ 16:30 —

(3) 報告: 日本提案技術

(4) X ウィンドウシステムの動画像拡張方式

山本英治, 碓崎賢一 (九工大)

* DAVIC 日本委員会, IEEE Computer Society Tokyo Chapter と共催 (予定)。

~~~~~

\*\*\* 研究発表会 発表論文・参加募集 \*\*\*

◆音声言語情報処理研究会

第 5 回研究会は, 下記特集について集中的な討議と情報交換を行う目的で宿泊形式で行います。研究会の発表, 参加申込方法は下記のとおりです。皆さまどうぞ奮ってご応募, ご参加ください。

日 程 平成 7 年 2 月 3 日 (金)・4 日 (土)

会 場 KKR 伊豆長岡千歳荘

議 題 特集: 音声入出力装置とユーザインタフェース上の諸問題

発表申込方法 研究発表申込の様式で, 一般/実演・ビデオセッションの別 (下記参照), 発表題目, 発表者名, 所属 (略称), 概要 (50 字程度), 発表者連絡先 (住所, 氏名, Tel., Fax., e-mail) をご記入の上, 下記申込先 (兼参加申込先) に電子メールまたは Fax にて直接お申し込みください。

◇一般講演 (原稿枚数: 6 ~ 8 枚)

◇実演/ビデオ・セッション (原稿枚数: 2 ~ 4 枚)

\* もちろん一般講演としてその中で実演/ビデオデモをされても結構です。

発表申込締切 平成 6 年 12 月 5 日 (月)

参加申込締切 平成 6 年 12 月 26 日 (月) \* 宿泊費 (1 泊 3 食, 懇親会費込) として 13,000 円を予定しています。

申 込 先 新田恒雄 (東芝 マルチメディア研) e-mail: nitta@sp.mmlab.toshiba.co.jp

Fax.(044)520-5861 Tel.(044)548-5352

◆情報学基礎研究会

今年度最後の研究会を下記のとおり開催いたします。奮ってご参加ください。なお, プログラム詳細につきましては,

1月号にてお知らせいたします。

日 程 平成7年2月7日(火)  
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)  
議 題 特集:ゲノム

◆人工知能研究会

日 程 平成7年3月6日(月)・7日(火)  
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)  
議 題 特集:マルチエージェントとゲーミング

近年、マルチエージェントの研究が盛んになりつつあり、その実験対象として、対戦ゲーム、オセロ、将棋、囲碁、チェス、テレビゲーム、球技などの各種ゲームが、AIの研究対象として見直されつつあります。本特集では、そのような流れを踏まえ、古今東西のゲームについて専門家をお迎えして、招待講演およびパネルを企画しました。マルチエージェントおよびゲーミングについて研究をなさっている方はもちろん、より一般的に、AIにおけるインタラクションに興味を持つ皆様から、新分野を創造するような意欲的発表を募集いたします。特集テーマ以外の一般発表も受け付けます。

発表申込締切 平成6年12月15日(木)

申 込 先 沼尾正行(東工大 情報理工学研究科) Tel.(03)5734-2684 Fax.(03)5734-2689

◆ソフトウェア工学研究会

◆ドメイン分析/モデリング研究グループ

上記研究会と研究グループの合同研究発表会の論文を下記のとおり募集いたします。

日 程 平成7年3月9日(木)・10日(金)  
会 場 上智大学(四谷キャンパス)  
議 題 特集:ドメイン分析/モデリング、ほか一般

発表申込締切 平成6年12月20日(火)

照 会 先 伊藤 潔(上智大) Tel.(03)3238-4143 Fax.(03)3238-3311 e-mail: itohkiyo@hoffman.cc.sophia.ac.jp

◆プログラミング言語・基礎・実践一研究会

日 程 平成7年3月9日(木)・10日(金)  
会 場 東京工業大学  
議 題 特集:並列分散処理

発表申込締切 平成6年12月26日(月)

照 会 先 柴山悦哉(東工大) Tel.(03)5734-3211 Fax.(03)5734-2754 e-mail: etsuya@is.titech.ac.jp

\*電子情報通信学会(コンピューテーション研究会、ソフトウェアサイエンス研究会)と共催。

◆情報メディア研究会

第20回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募ください。

日 時 平成7年3月10日(金) 9:30~17:00  
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)  
議 題 特集:情報メディアアーキテクチャ

情報メディアアーキテクチャを多角的視点から議論を行う。

●著作権・超流通・セキュリティなど「社会システム」として

●WWW・WAIS・Mosaic・プロトコルなど「広域分散システム」として

●OS・リンクサーバー・アプリケーション連携・シンセティックプログラミングなど「ソフトウェアプラットフォーム」として

●情報分類・概念空間構築・ハイパーメディア用スクリプト言語など「情報内部に内包する構造の抽出技術」から捉える など

発表申込締切 平成6年12月20日(火)

照 会 先 平山智史(ソニー IPC PIC 商品部) Tel.(03)3458-5605 Fax.(03)3458-5611

e-mail: hirayama@ipc.sony.co.jp \*できるだけ電子メールにてお願いいたします。



## ◆情報システム研究会

## 「第5回情報システム若手の会」発表論文募集

第53回研究会は、「第5回情報システム若手の会」ということで、情報システムの分析、設計、構築、運用、利用、ならびに関連した研究、開発などに携わる若手の方々（学生、若手社員、若手研究者、若手教育者など）の発表と討論を予定し、下記のとおり、開催いたします。一般発表のほかに、基調講演やパネル討論なども計画中です。また、研究会終了後に簡単な懇親会を行う予定です。多数の方々のご参加をお願いします。テーマは自由です。情報システムの構築方法や開発事例だけでなく、社内での情報システム改善活動や、若手からみたシステム開発の諸問題、情報システムの将来展望などの発表を歓迎します。

日 程 平成7年3月22日（水）

会 場 東京都内

発表申込方法 研究会発表申込書に発表題目と75字以内の概要を記入のうえ、下記へご送付ください。

発表申込締切 平成6年11月30日（水）

申 込 先 中嶋開多（文教大学情報学部 〒253 茅ヶ崎市行谷1100） Tel.(0467)53-2111 Fax.(0467)54-3721

● \*特に申込みの指定がない研究会の発表申込希望者は開催日の3ヵ月前までに研究会発表申込書（8月号本欄末添付）を事務局研究会担当までご送付ください。

~~~~~

◆第4回 分散システム運用技術研究グループ研究会

（発表件数：7件）

（主査：石田晴久，幹事：岩原正吉，箱崎勝也，林 英輔）

日 時 平成6年11月16日（水）13：30～17：30

会 場 名古屋大学 大型計算機センター 4F 演習室

〔名古屋市千種区不老町，JR：名古屋下車，地下鉄（東山線）：本山下車，徒歩15分。Tel.(052)789-4361〕

議 題 ◇教育用大規模分散型WSシステムの構成方法（岡田 稔，岩田 晃，松本哲也，池田幹男（名大））

◇教育用大規模分散型WSシステムの利用状況（松本哲也，池田幹男，岩田 晃，岡田 稔（名大））

◇Local News Exchange（渡辺健次，床井浩平（和歌山大））

◇複数建屋間イーサネットネットワークの構築（関根敏和，近藤明弘（岐阜大））

◇ヘルプデスク支援システムの運用（那須田宏（富士通愛知エンジニアリング））

◇分散システムの運用管理－システム設計方針と利用実態（ロギングの分析から）－（福田 基（中部大））

◇部局分散型情報ネットワークにおける運用管理体制（宇田紀之（三重大））

* 照会先 長谷川明生（名古屋大学 大型計算機センター） Tel.(052)789-4361 e-mail: a49915a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

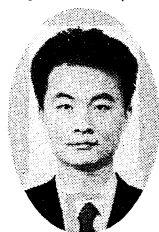
平成 6 年度山下記念研究賞の表彰

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈をいただいた資金を活用するため、平成 6 年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。

本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、調査研究運営委員会（委員長：野口正一）が選定委員会となって行います。本年度は表彰対象の 23 研究会の主査から推薦された計 25 編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、受賞候補者として推薦のうえ、第 388 回理事会（平成 6 年 6 月）の承認を得て決定されたものです。本年度の受賞者は下記の 25 君で、去る 9 月 28 日に北海道大学で開催された第 49 回全国大会の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が授与されました。

● 一般化された実例と確率を用いた曖昧性解消

[93-NL-98(1993.11.19)]



李 航君（正会員）

ウェア科学会、言語処理学会各会員。

昭和 40 年生。昭和 63 年京都大学工学部電気工学第二学科卒業。平成 2 年同大学大学院電気工学第二学科修士課程修了。同年 NEC 入社。自然言語処理の研究に従事。現在、NEC C&C 研究所システム基礎研究部に所属。自然言語処理、機械学習、認知科学などに興味をもつ。日本ソフト

[推薦理由]

自然言語処理では、可能解の絞り込みが大課題であるが、ルールや確率・統計に基づく方法なので、従来法単体には限界があった。本研究では、格フレームの概念を拡張適用したハイパーソーラス、単語の共起頻度、構文の出現頻度などを利用しつつ、従来法を融合して相乗効果が得られることを実証した。MAP(Minimal Attachment Principle) や RAP(Right Association Principle) などの言語理論的主張とも両立し得る実用的手法である点も高く評価できる。

● 動画像データベースにおける不完全質問と MeSOD モデル

[92-DBS-89(1992.7.22)]



田淵 仁浩君（正会員）

究部。マルチメディアデータベースやそのヒューマンインターフェースに関する研究に従事。最近は、パーソナルコンピュータとネットワークを使いこなすためのパーソナルメディアの研究に興味をもつ。本会第 35 回全国大会学術奨励賞受賞。電子情報通信学会会員。

昭和 40 年生。昭和 62 年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。平成 5 年同大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士後期課程修了。工学博士。平成元年早稲田大学情報科学研究教育センター助手。平成 5 年より日本電気（株）に勤務。現在、同 C&C 研究所ターミナルシステム研

[推薦理由]

本論文では、動画像の時系列的特徴に注目し、部分系列の記述と許容条件を含む不完全質問およびその処理系を提案し、理論的に検証した。特に、著者が提案した MeSOD モデルにおける不完全質問は新規性が高く、その有効性を具体的応用を通して明快に示した点と、動画像のみならず時系列データ一般に適用可能な汎用性のある成果が得られた点で高く評価できる。従来、アプリケーションだけで取り扱いがちだったマルチメディアデータをデータベースの手法を用いて処理する指針を与えており、本研究の今後の進展が期待できる。

● 構造検索機能と継承演算子を持つオブジェクトベース代数

[93-DBS-95(1993.9.9)]



吉川 正俊君 (正会員)

昭和 33 年生。昭和 55 年京都大学工学部情報工学科卒業。昭和 60 年同大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。同年京都産業大学計算機科学研究所講師。同大学工学部助教授を経て平成 5 年より奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。データベース、特に

データモデル、操作言語などの研究に従事。電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、ACM、IEEE Computer Society 各会員。

[推薦理由]

本論文で提案されたオブジェクトベース代数は Obase データモデルのデータ操作系で、組、集合構造の航行演算子やオブジェクト間の継承を明示的に指定するための継承演算子を持ち、それらの正規表現を許す。また、表現能力の点では関数代数を包摂する。さらに、オブジェクト間の継承をデータ操作体系の中に含めることにより、オブジェクトの多様な見方を利用者が選択できる。この体系は ObaseSQL として Obase システム上で実装されており、オブジェクト指向データベースの操作言語として実現可能な形式的意味を与えたものとして評価できる。

● 力学に基づく分散的論理推論

[93-AI-89(1993.8.18)]



橋田 浩一君 (正会員)

昭和 33 年生。昭和 56 年東京大学理学部情報科学科卒業。昭和 61 年同大学大学院博士課程修了。理学博士。同年電子技術総合研究所入所。昭和 63 年から平成 4 年まで (財) 新世代コンピュータ技術開発機構に出向。現在、電子技術総合研究所知能情報部自然言語研究室主任研究員。

自然言語処理、認知言語学、人工知能の研究に従事。人工知能、絵画、料理などに興味をもつ。日本認知科学会、日本ソフトウェア科学会、人工知能学会、ACL、AIUEO 各会員。

[推薦理由]

制約の記述言語として記号論理が用いられてきたが、頑健性や文脈依存性に欠けるという問題があった。本論文の著者らは、この問題を解決した計算アーキテクチャとして、制約の違反の度合をエネルギーとして数値化した力学的制約を提案している。本論文は、局所的な計算のみによって多段の論理推論を実現可能なエネルギー関数を与えたものである。本研究は、対話処理や動的環境におけるプランニングなど幅広い応用が期待され、その成果は高く評価できる。

● TAO のオブジェクト

[92-SYM-65(1992.6.12)]



天海 良治君 (正会員)

昭和 34 年生。昭和 58 年電気通信大学電気通信学部計算機科学科卒業。昭和 60 年同大学大学院修士課程修了。同年 NTT 入社。以来、プログラミング・パラダイム、計算機アーキテクチャ、計算機ネットワークの研究に従事。現在、NTT 基礎研究所主任研究員。

[推薦理由]

TAO は記号処理カーネル SILENT 上に設計されたマルチパラダイムの言語で、本研究は TAO にオブジェクト指向パラダイムを実現するためのプリミティブの設計について述べたものである。ここに示された十数種のプリミティブは関数型・論理型パラダイムとの整合性を保ちつつ、処理効率も追求した設計になっており、十分な記述力があることが示されている。言語はプロが機械の性能を十分に生かせるように設計されており、SILENT チップ上でその処理能力が示される

日が楽しみである。

● バグ作り込みにおけるストレス影響度の分析とストレスメトリクスの提案

[94-SE-96(1994.1.21)]



古山 恒夫君 (正会員)

昭和 20 年生。昭和 43 年東京大学工学部計数工学科卒業。昭和 48 年同大学大学院博士課程修了。同年日本電信電話公社入社。横須賀電気通信研究所で拡張型言語, Ada, Common LISP などの言語処理プログラムの研究実用化に従事。現在, 日本電信電話(株)ソフトウェア研究所

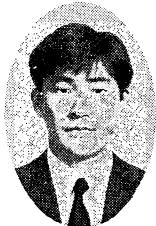
でソフトウェアプロジェクト管理法, ソフトウェア品質保証法, ソフトウェア見積り法などの研究実用化に従事。電子情報通信学会, 日本ロボット学会各会員, 工学博士。

[推薦理由]

ソフトウェア開発において, 心理的なストレスがどの程度バグの作り込みに影響を与えているかを実験により定量的に明らかにしている。心理的なストレスを測定するために, 開発担当者の自己申告による内観メトリクスと血圧計のような機器を利用して測定する外観メトリクスを導入し, それらに基づくデータとバグの関係を統計的手法を駆使し詳細に分析して結論を導いている。この研究は, ソフトウェア工学における実験の方法とデータの分析方法にインパクトを与える先駆的な研究であり, 今後のこの分野の研究に大きく貢献するものと考えられる。

● スライドウィンドウ方式に基づく擬似ベクトルプロセッサ

[93-ARC-101(1993.8.20)]



中村 宏君 (正会員)

昭和 38 年生。昭和 60 年東京大学工学部電子工学科卒業。平成 2 年同大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。工学博士。同年筑波大学電子・情報工学系助手, 平成 3 年同講師。計算機アーキテクチャ, 並列処理, 計算機の上位レベル設計支援に関する研究に従事。本

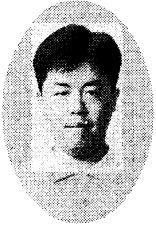
会平成 5 年度論文賞受賞。電子情報通信学会, IEEE 各会員。

[推薦理由]

本論文で提案されている擬似ベクトルプロセッサは, レジスタをスライドウィンドウ構成とすることによって, 既存のアーキテクチャとの上位互換性を維持しながら, 大規模科学技術計算において問題となる主記憶アクセスレーテンシを効果的に隠蔽する。上位互換性を維持可能なこの方式は, 極めて独創的であるとともに, 非常に実用性に富んでおり, 特筆に値する。本論文は, 提案するプロセッサの方式提示だけにとどまらず, 定量的な性能評価, 実現可能性に対する議論を通して, 提案する方式の有効性を客観的に示しており, 高く評価される。

● マイクロカーネルによる連続メディア処理の基盤技術

[コンピュータシステム・シンポジウム(1993.10.20)]



西尾 信彦君 (正会員)

昭和 37 年生。昭和 61 年東京大学工学部計数工学科卒業。昭和 63 年同大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。平成 4 年同大学大学院同研究科博士課程中途退学。平成 5 年より慶應義塾大学環境情報研究所に研究員として勤務。システム・ソフトウェア, 特に分散リア

ルタイムシステムに興味をもつ。ACM, IEEE 各会員。

[推薦理由]

ビデオとか音声というデジタル連続メディアをコンピュータで配信しようという応用は, 今後のコンピュータの大き

な用途である。しかしながら現在のコンピュータ・ハードウェアやオペレーティング・システムは、これらの応用に対応するには満足でない。著者らは、デジタル連続メディアを扱うために最適なオペレーティングシステムというものを基本的に考え直し、その考えを元に設計し、実現している。今後のインパクトの大きさから本賞に値すると考え、推薦する。

● フローからの3次元推定における最尤推定量が最適ではない証明

[93-CV-86(1993.11.11)]



遠藤 利生君 (正会員)

昭和39年生。昭和62年東京大学工学部計数工学科卒業。同年(株)富士通研究所入社。以来、画像処理、画像理解の研究に従事。視覚の計算論に興味をもつ。人工知能学会会員。

● [推薦理由]

剛体の瞬時の微小運動の軌跡であるオプティカルフローを利用して、画像から3次元の運動を復元できる。観測されるオプティカルフローには測定誤差や雑音に加わっているため最小2乗法平均誤差を最小化する最尤推定が行われてきた。この最尤推定法で得られる推定量が最適ではなく、最尤推定量よりも漸近的な分散が小さくなるものが存在することを証明し、高精度の運動パラメータ推定の可能性を明らかにしたことは高く評価できるものであり、理論面からコンピュータビジョンの研究を支えるものである。

● スキューをゼロにする配線における遅延最小化

[93-DA-68(1993.10.28)]



枝廣 正人君 (正会員)

昭和35年生。昭和58年東京大学工学部計数工学科卒業。昭和60年同大学大学院計数工学専攻課程修士修了。同年日本電気(株)入社。以来、C&Cシステム研究所にてVLSI CAD、計算幾何学、NMSなどの研究に従事。平成3年プリンストン大学計算機科学科博士課程入学。平成5年修士取

得。現在C&C研究所システム基礎研究部主任、プリンストン大学Ph.D. Candidate。平成3年元岡記念会第6回元岡賞、本会平成5年度第2回坂井記念特別賞などを受賞。電子情報通信学会、日本オペレーションズリサーチ学会、IEEE各会員。

● [推薦理由]

システムの高速度化(クロック周波数の上昇)に伴い、クロックスキューをゼロにする配線手法の確立が急務である。本論文では、必要な遅延見積式を分配RCモデルに基づいて導出し、これを目的関数とした配線幅最適化問題を定式化し、スキューをゼロにする目的配線を求める手法を提案している。1.問題の定式化、2.その基本解法の提示、さらに3.ベンチマークを用いた計算機実験による定量的評価を総合的かつシステムティックに行っている。完成度も高く、独創的かつ実用的価値の高い研究であり、本賞に値する。

● 2分決定グラフを用いた推移的閉包計算アルゴリズムと形式的検証への応用

[93-DA-65(1993.1.21)]



松永 裕介君 (正会員)

昭和37年生。昭和60年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。昭和62年同大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年富士通研究所入社。以後VLSIの論理設計CADの研究に従事。特に論理合成、高位合成、形式的検証に興味をもつ。平成3年10月より1年間、米国カリフォルニア大

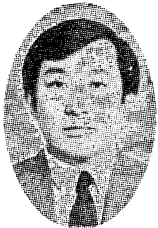
学バークレイ校に客員研究員として滞在。電子情報通信学会、IEEE各会員。

[推薦理由]

2分決定グラフのCAD分野への応用に関する優れた一連の研究を行っている。対象の論文では、2分決定グラフで表現された状態遷移関係から効率良くその推移的閉包を計算する再帰的アルゴリズムを提案している。このアルゴリズムは、問題を小さな子問題に分割していくので少ないメモリで高速に推移的閉包を計算することができるという利点をもつ。またこの成果は、グラフの到達可能性問題にも利用でき、計算機科学の広い分野での応用が期待できる。汎用性があり、かつ実用的価値の高い研究であり、本賞に値する。

● やわらかいネットワークの開発にむけて 一知識型設計方法論—

[93-DPS-62(1993.9.21)]



菅原 研次君 (正会員)

昭和25年生。昭和48年東北大学工学部通信工学科卒業。同年富士通(株)入社。昭和50年東北大学大学院工学研究科修士課程入学。昭和55年同大学大学院博士課程中退。同年千葉工業大学電子工学科助手。現在、千葉工業大学情報工学科教授。工学博士。分散人工知能、知識型

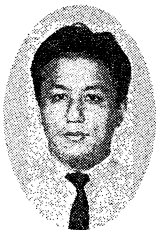
設計方法論、ソフトウェアリエンジニアリング、やわらかいシステムに興味をもつ。電子情報通信学会、人工知能学会、ソフトウェア科学会、IEEE各会員。

[推薦理由]

本論文は次世代情報ネットワークとして、「やわらかいネットワーク」という新しい概念を導入し、知性、恒常性、発展性を基本軸としてその定式化を行い、このモデルをもとに構成方法を提案している。この構成法を用いると、故障および障害に対して安定的に機能を維持し、さらに利用者要求の多様な変化やシステム構成要素の機能と性能の向上について安定的に進化する大規模ネットワークシステムを実現することが可能となる。以上の点から次世代ネットワークの構築に資するだけでなく、人工的なシステムの安定性および発展性の円滑な実現にも大きな貢献が期待でき、本賞に値する。

● 音声自由対話システム TOSBURG II
—マルチモーダル応答と音声応答キャンセルの利用—

[92-HI-45(1992.11.13)]



竹林 洋一君 (正会員)

昭和26年生。昭和49年慶應義塾大学電気工学科卒業。昭和55年東北大学大学院工学研究科博士課程修了。同年(株)東芝入社。以来、音声情報処理、知的インタフェースの研究に従事。現在、東芝研究開発センター情報・通信システム研究所主任研究員。昭和60から62年MIT

Media研究所客員研究員。平成3から4年EDR第5研究室長。人工知能学会、電子情報通信学会、音響学会各会員。

[推薦理由]

この研究は、音声認識によるユーザ入力と、音声、テキスト、グラフィックスからなるシステムのマルチモーダル応答による対話システムを提案し、特にシステム側の状態によらずユーザ側からの主体的な遮り入力を可能にしたものである。また、ここで実現された自由対話により、対話時間が大幅に短縮され、主観的満足度も向上したことが評価実験により検証された。これからのヒューマンインタフェースと期待されるマルチモーダルやエージェントシステムにおける人間中心デザインの方向性を示したもので、実用上も極めて重要な研究であり、本賞に真にふさわしい。

● 球の最密充填と Delaunay 網による曲面の自動三角形メッシュ分割

[94-CG-67(1994.2.18)]



嶋田 憲司君 (正会員)

昭和 34 年生。昭和 58 年東京大学工学部精密機械工学科卒業。昭和 60 年同大学大学院工学系研究科修士課程修了。同年より日本アイ・ビー・エム (株) ジャパン・サイエンス・インスティテュート (現東京基礎研究所) 勤務。平成元年よりマサチューセッツ工科大学大学院留学。

平成 5 年同博士課程修了。Ph.D. 現在、日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所にて計算機による形状処理、コンピュータ・グラフィックス、計算力学などの研究に従事。

[推薦理由]

本論文では、入力として、複数のトリム曲面上にわたって定義される曲面領域と望ましいノード間距離分布関数を与え、最密な球配置と Delaunay 三角形網との関係を応用し、(a) 三角形要素の大きさが制御可能である、(b) 境界との整合性が高い、(c) メッシュ要素に歪みが少ない、などの特長のある三角形メッシュを自動生成する新しい手法を提案している。本手法は、解析モデルの生成や CG におけるポリゴン生成、ラビッドプロトタイピング用のモデル生成などの幅広い分野で有用であり、この研究の成果は高く評価できるものである。

● 前処理つき Jacobi 法による並列回路 simulation

[93-HPC-48(1993.8.20)]



須田 礼仁君 (正会員)

昭和 43 年生。平成 3 年東京大学理学部卒業。平成 5 年同大学大学院理学系研究科修士課程修了、東京大学理学部助手。超電導論理素子、回路シミュレーション、並列数値処理の研究に従事。

[推薦理由]

半導体の高集積化や高速化に伴い、大規模回路の過渡応答解析の必要性が増大し、回路解析の並列化が必要になりつつある。回路解析で重要な箇所は、各回路要素の物理特性を計算する部分と連立 1 次方程式を解く部分である。前者は各要素が独立になるため並列化は困難ではないが、後者の連立 1 次方程式の解法には、得られる係数行列の条件数があまり良いとはいえないので、制限が生まれ並列化も容易ではない。この論文は、この連立 1 次方程式の効率の良い並列化を対象としたもので、学問的にも応用面でも高い評価に値する。

● データ融合による情報の確からしさの改善

[93-IS-43(1993.3.16)]



川野 喜一君 (正会員)

昭和 26 年生。昭和 51 年東京大学工学部計数工学科卒業。同年富士通 (株) に入社。数理計画システム開発、顧客システム開発を経て、昭和 56 年より (株) 富士通システム総合研究所において指揮管制システム、知識情報処理システム、データ融合システム、シミュレーション・

システムなどの研究開発に従事、現在に至る。人工知能学会会員。

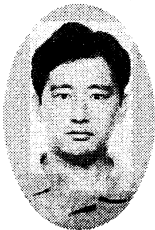
[推薦理由]

本研究は、センサなど各種の情報源から得た不確かな情報を総合し、意思決定を行う情報システムの基礎となる考え方を示した上で、地域分析支援システムを試作し、その有効性を検証したものである。いまだ改善の余地はあるものの、データ融合の概念について独自に整理を試みたこと、近年注目を集めている Dempster-Shafer 理論を採用した意欲的なシス

テムであること、救難、消防、航空管制など、さまざまな場面で応用が期待されることなどから、本質に値すると判断した。

● 多重定義と部分型が存在する計算の強正規性と型保存性について

[93-PRG-14(1993.10.29)]



立木 秀樹君 (正会員)

昭和 38 年生。昭和 61 年京都大学理学部卒業。昭和 63 年同大学理学部大学院修士課程（数理解析専攻）修了。理学博士。京都大学数理解析研究所助手、慶應義塾大学環境情報学部助手を経て、平成 6 年より京都産業大学専任講師。型理論、数理論理学、カテゴリ理論などのプログラ

ム言語の基礎理論に興味をもつ。日本ソフトウェア科学会、ACM 各会員。

[推薦理由]

本論文は、オブジェクト指向型言語として広く用いられている CLOS の基礎になっている多重定義関数の性質について深く研究したものである。著者は多重定義関数を定義する土台として、多重定義と型変換を有する型付き λ 計算の構築を試みたが、その結果として、型変換規則が微妙に異なる二つの体系を得た。そして、驚くべきことに、片方の体系では強正規性が成り立つが型保存性が成り立たず、もう片方の体系ではその逆になっていることが分かった。本論文の結果は多重定義関数を持つプログラミング言語の設計等に強く影響を与えるだろう。

● 構成要素カテゴリを用いた原著論文の内部構造分析

[92-FI-25(1992.5.12)]



神門 典子君 (正会員)

昭和 35 年生。昭和 58 年慶應義塾大学文学部図書館・情報学科卒業。東京慈恵会医科大学医学情報センターおよび情報処理研究室勤務を経て、平成 3 年慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻修士課程修了。平成 6 年同研究科博士課程単位取得退学。平成 5 年から平成

6 年 6 月日本学術振興会特別研究員。同年 7 月より学術情報センター研究開発部助手。文献の構造、索引法、情報検索、情報概念研究、テキストベース、計量書誌学、画像索引などに興味をもつ。三田図書館・情報学会、日本図書館学会、日本索引家協会、情報知識学会、言語処理学会各会員。

[推薦理由]

著者は、主題領域に依らない共通の枠組みで論文内容を捉えることを目的とし、内部構造分析のための階層型構成要素カテゴリを提案した。その第 1 レベルの要素は、問題、証左の妥当性・提示・吟味、解答であり、下位レベルの各要素は、実際に医学、物理学、経済学、国文学の原著論文 127 件の分析に基づいて設定され、その妥当性が示された。本研究は、情報の基礎に関わるアプローチで、主題分析や全文データベース検索への応用も期待できる。萌芽的研究であるが、平成 6 年 5 月にその後の進展の発表もあり、今後に期待のもてる研究である。

● システム化技術に関する教育への取り組み — 自律型知能ロボットの開発カリキュラム —

[コンピュータと教育シンポジウム(1993.12.7)]



魚住 薫君 (正会員)

昭和 8 年生。昭和 30 年京都大学工学部電気工学科卒業。昭和 32 年同大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。同年富士通信機製造（株）（現富士通（株））入社。計算機ハードウェア開発、システム開発、ユーザ教育などに従事。昭和 63 年より国立沼津工業高等専門学校電子制

御工学科教授。電子情報通信学会会員。

[推薦理由]

著者は永年にわたって、高専におけるコンピュータ教育に尽力してきた。今回の発表は、課題研究・卒業研究の一環として、学生が自主的に作成したロボットの製作指導を中心とした内容である。これは高専・短大のみならず大学でのコンピュータ教育に多大の示唆を与える貴重な研究であり、本賞にふさわしい業績と判断する。

● 動的最小木，最大木問題

[92-AL-29(1992.9.25)]



加藤 直樹君 (正会員)

昭和 26 年生。昭和 48 年京都大学工学部卒業。昭和 50 年同大学大学院工学研究科修士課程修了，昭和 52 年同博士課程中退。同年大阪府立成人病センター情報企画室勤務。昭和 56 年神戸商科大学商経学部管理科学科講師。以来，組合せ最適化，データベースシステム，計算機幾何の研

究に従事。現在，同大学教授。工学博士。電子情報通信学会，オペレーションズ・リサーチ学会，応用数理学会各会員。

[推薦理由]

本研究は，各点が空間上に直線的に定速度で移動するときに，点集合に対する最小木と最大木の変化回数の上限と下限をさまざまな距離に対して解析したものである。1 点が変わる場合については，計算幾何学の分野ですでに同様の研究があるが，すべての点が定速度とはいえ，それぞれ異なる速度で移動する場合の構造変化の回数を解析したものは少ない。このように，アルゴリズム解析の新天地を切り開いた点は注目に値する。本賞に値する独創性，アイデア，論文としての深さがあり，本賞にふさわしい。

● ビデオによる古文書の効率的画像入力法と自動接続処理

[94-CH-21(1994.1.28)]



柴山 守君 (正会員)

昭和 22 年生。昭和 45 年立命館大学理工学部電気工学科卒業。同年京都大学大型計算機センター勤務。京都大学東南アジア研究センター助手を経て，昭和 63 年大阪国際大学助教授。現在，大阪国際大学経営情報学部教授。工学博士。画像・マルチメディア処理，自然言語処理，意

思決定支援システムなどに興味をもつ。電子情報通信学会，経営情報学会各会員。

[推薦理由]

古文書・古絵図などは微妙な濃淡表現や色調も重要な要素であるため，十分な解像度・画質を得られるようにクローズアップした画像を分割して撮影する必要がある。しかし，分割したままの画像では利用しにくいので，コンピュータ上で接続・接合処理を行わなければならない。本論文では，そのための位置合わせ・色合わせのための手法とその応用例が報告され，専門的かつ手間のかかる原史料の撮影，原画復元を手軽に，応用性に富んだデジタル画像として作成できるところに特徴があり，この分野の研究に大いに資するものと思われる。

● 歴史的必然としての超流通

[超編集・超流通・超管理の7-キクチャシホ'シム(1994.2.18)]



森 亮一君 (正会員)

昭和4年生。東京大学工学部卒業。同大学大学院(旧制)特別研究生。工学博士。電子技術総合研究所論理システム研究室長。筑波大学教授。同情報学類長を経て、同大学名誉教授。昭和61年にIFIP Silver Core賞を受賞。昭和58年に未来型デジタル情報の流通・供給システム「超流通」を

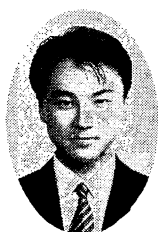
発明。電子情報通信学会、計測制御学会、情報通信学会、IEEE、EUROMICRO 各会員。

[推薦理由]

デジタル知財が価値の源泉になるデジタル情報社会において、デジタル知財の円滑な流通を実現し、デジタル知財の特性を活かす意味で利用に関する課金システムを含めた体系的な超流通アーキテクチャを提案し、その技術的なメカニズムを示すとともに、社会経済システム基盤としての展望を示したこと。

● ブラインドデコンポジション問題としての音源の分離と同定

[93-MUS-3(1994.10.23)]



植田 護君 (学生会員)

(国際コンピュータ音楽協会) 会員。

昭和44年生。平成5年早稲田大学理工学部応用物理学卒業。同大学大学院理工学研究科物理学および応用物理学専攻情報工学研究室(指導教授 橋本周司)の修士2年に在学。音楽情報処理の研究に従事。特に、信号処理とその音響への応用、および逆問題に興味をもつ。ICMA

[推薦理由]

音源分離という有用性の高い問題に対し、特定の音源のモデルを仮定せず混合音の情報のみから音源を分離するという現実的な条件の下で検討を行った。結果を一意に定めるため、音源に対して一般的だが効果的な制約を課した。本手法には高い新規性があり、将来、有効な音源分離の一手法に発展することが期待される。発表には、音源分離の実験結果を聴衆に聞かせるデモも含まれており、有効性を確認することができた。よく整理された説得力のある発表であった。以上の理由により本論文は本賞に十分値するものである。

● CSMA/CD LAN による映像通信サービスの実現

[93-AVM-2(1993.9.17)]



田尻 哲男君 (正会員)

昭和29年生。昭和52年茨城大学工学部電気工学科卒業。同年日本電信電話公社(現NTT)入社。以来、電気通信研究所にてファクシミリ用イメージセンサ、テレライティング装置、映像符号化装置の研究開発に従事。現在、NTT ヒューマンインタフェース研究所画像通信研究部

主幹研究員。映像通信機器の研究開発に従事。画像電子学会、電子情報通信学会各会員。

[推薦理由]

本論文の著者は、CSMA/CD LAN による映像通信サービスの実現を目的として、映像の実時間通信を行う LAN 用映像音声通信装置を開発するとともに、ワークステーション、パソコンを組み合わせた映像音声蓄積システムを開発した。さらに、専用のゲートウェイを開発し、ISDN テレビ電話との相互通信を可能とした。このシステムは、既存のワークステーション、パソコンに実装することにより簡易にビデオメール、映像データベースを構成することができる優れたシステムであり、情報処理分野の発展に大きく貢献している。

● 気持ちの伝わるコミュニケーションのための非言語的な感情表現について [94-GW-5(1994.1.28)]

井上 智雄君 (学生会員)



昭和44年生。平成4年慶應義塾大学理工学部卒業。平成6年同大学大学院理工学研究科計測工学専攻修士課程修了。現在、同専攻博士後期課程在学。心理学・社会学とその工学的応用に興味をもつ。電子情報通信学会会員。

【推薦理由】

本論文は、来るべきマルチメディア通信におけるノンバーバル情報の利用を踏まえ、これまで明確ではなかった身体的動作により伝達されるノンバーバル情報について調査している。その際、ノンバーバル情報の重要な要素である感情表現に注目して、多変量解析によりその内容を実験的に明らかにしている。さらに、その結果をCG動画像として利用する提案を行っている。これらは、基礎研究として今後のネットワーク・コミュニケーションにおける気持ちの伝達の可能性を進めるものであり、その視点はユニークなものであると思われる。

雑 報

● 大川情報通信基金 平成7年度研究助成の募集

情報・通信に関する研究、現状分析・予測調査・意識調査等を助成しています。詳細は下記に照会ください。

締 切 平成6年12月20日(火)

照 会 先 (財)大川情報通信基金(前川) Tel.(03)3505-6048 Fax.(03)3584-4420

● 「鉄—21世紀の夢」日本鉄鋼協会 80周年記念懸賞作文募集

標記について中・高校生(1部)、学生・一般(2部)から作文を募集しています。詳細は下記に照会ください。

締 切 平成7年3月31日(金)

照 会 先 日本鉄鋼協会「鉄-21世紀の夢」懸賞作文事務局 Tel.(03)3279-6021 Fax.(03)3245-1355

● 囲碁ソフト選手権大会案内

日本棋院の協賛で平成7年3月開催されます。締切は2月末です。詳細は下記に照会ください。

照 会 先 (財)科学技術融合振興財団 事務局(丸山) Tel.(045)562-5432 Fax.(045)562-8110

第48回全国大会奨励賞の表彰

第48回全国大会奨励賞は、去る10月28日～30日に北海道大学教養部で開催された第49回全国大会の席上、会長から下記11君に授与されました。

本賞は今年3月開催の第48回全国大会（於、東京理科大学）の発表論文を対象に、奨励賞委員会（委員長 平栗副会長）において表彰規定にもとづき、総発表件数1055件中推薦のあった46名の候補者の中から19名を選び、さらに慎重審議の結果、11名が受賞候補者として推薦され、第389回理事会（平成6年7月）の承認を得て決定されたものです。

ディレクトリキャッシュにおける類似フルマップシステムの定量的評価 (3B-1)

佐藤 充君（学生会員）

昭和44年生。平成4年東京大学工学部電気工学科卒業。現在、同大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程在学中。並列計算機アーキテクチャの研究に従事。

TV会議システムMAJICの実装と評価 (7C-6)

市川 裕介君（学生会員）

昭和46年生。平成6年慶応義塾大学理工学部計測工学科卒業。現在、同大学大学院理工学研究科計測工学専攻修士課程在学中。グループウェアの研究に従事。

事例ベース推論を用いた通信システムの仕様化環境 (2D-3)

黄 錦法君（学生会員）

昭和61年台湾逢甲大学工学部情報工学科卒業。平成6年東北大学大学院情報科学研究科修士課程卒業。

フラッシュメモリ向きデータ構造F木の性能評価 (1F-7)

高倉 弘喜君（学生会員）

昭和42年生。平成2年九州大学工学部情報工学科卒業。平成4年年同大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程終了。現在、京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程在学中。日本学術振興会特別研究員。データベースバックアップシステム、リアルタイムデータベースシステムの研究に従事。

視覚プログラミングと対話的操作の融合 (2G-4)

小池 雄一君（正会員）

昭和43年生。平成2年東京大学工学部精密機械工学科卒業。平成4年同大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻修士課程修了。同年、日本電気（株）入社。現在同社C&C研究所にてビジュアルプログラミングの研究に従事。

無制限に変更・拡張が可能なコンパイラの設計・実現方法の提案 (7G-4)

一杉 裕志君（正会員）

昭和40年生。昭和63年東京工業大学理学部情報科学科卒業。平成2年同大学大学院理工学研究科情報科学専攻修士課程修了。平成5年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。理学博士。同年電子技術総合研究所入所。並列オブジェクト指向言語などの研究に従事。

連続メディア処理のためのリアルタイムスレッドモデルの拡張 (1H-1)

河内谷清久仁君（正会員）

昭和38年生。昭和60年東京大学理学部情報科学科卒業。昭和62年同大学大学院理学系研究科情報科学専門課程修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム（株）入社。現在同社東京基礎研究所にてシステムソフトウェアなどの研究に従事。

ハイブリッド探索法を用いた詰将棋を解くプログラム (2N-7)

伊藤 琢巳君（正会員）

昭和39年生。昭和62年茨城大学工学部情報工学科卒業。平成元年同大学工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年、日本電信電話（株）入社。現在、同社ソフトウェア研究所勤務。

階層型山登り法：制約充足問題の高速な解法 (3N-3)

湯上 伸弘君 (正会員)

昭和40年生。昭和62年年東京工業大学理学部物理学科卒業。平成元年同大学大学院理工学研究科物理学専攻修了。同年、(株)富士通研究所入社。現在、同社マルチメディアシステム研究所にてエキスパートシステムなどの人工知能技術の研究・開発に従事。平成6年8月よりスタンフォード大学留学中。

辞書ベース連想による場面固定に必要な文脈情報量の推定 (3R-7)

角田 達彦君 (正会員)

昭和42年年生。平成元年東京大学理学部物理学科卒業。平成3年同大学大学院理学系研究科物理学専攻修士課程修了。現在、同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程在学中。言語処理に基づく脳機能解明の研究に従事。IJCNN'93-NAGOYA, Student Award 受賞。

オフィス内で行われる非計画的な対話の分析(3S-2)

小野 朗君 (正会員)

昭和42年生。平成2年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。平成4年同大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。同年日本電信電話(株)入社。現在、画像通信事業本部勤務。

「情報ネットワーク (IEEE ICOIN) ワークショップ」
参加者募集

ネットワークの高速化により、マルチメディア通信を用いた種々の分散システムが、開発され、利用されてきております。本ワークショップは、こうした高速ネットワークを中心とした分散システム技術について、基礎から応用まで幅広く議論を行うことを目的としております。なお本ワークショップ(9th International Conf. on Information Networking(ICOIN-9))は、従来当研究会が中心となり実施してまいりましたJWCC(Joint Workshop on Computer Communications)を拡大した会議であり、アジア各国からの研究者も多数参加する予定であります。これらの分野に関心をもたれている研究者、利用者の方々の幅広い参加をお待ちしております。

日 程 平成6年12月12日(月)～12月14日(水)

会 場 千里ライフサイエンスセンター (豊中市新千里東町1-4-2 Tel.(06)873-2010)
地下鉄千里中央駅北出口スグ (御堂筋線→北大阪急行線)

主 催 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会

共 催 IEEE Computer Society

参 加 費 正会員 30,000 円 研究会登録会員 25,000 円
非会員 40,000 円 学 生 5,000 円 (いずれも論文集を含む)
論文集のみ 5,000 円 (送料込)

※本参加費には、宿泊費は含まれません。宿泊については、各自で手配をお願いいたします。

※参加申込み後、止むを得ず参加を取り消される場合、12月2日(金)までをお願いします。取り消しの連絡がない場合、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。

※申込書は、本会告に掲載されている「行事申込書」をお使いください。掲載頁は会告目次をご覧ください。

申込締切 平成6年11月25日(金)

(定員130名になり次第締め切らせていただきます。論文集のみの方は、印刷部数に限りがありますので、お早めにお申込みください)

申 込 先 (社)情報処理学会 ワークショップ係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

プログラムなど 東京電機大学理工学部経営工学科 滝沢 誠

照 会 先 〒350 埼玉県比企郡鳩山町石坂

Tel.(0492)96-2911(ext.2507) Fax.(0492)96-6185

e-mail:taki@takilab.k.dendai.ac.jp

情報処理学会「行事」・「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚にて、下記ご記入の上、お申し込みください)

○第 49 回全国大会論文集

コードNo.	
--------	--

(コードNo.は、開催のお知らせに記載してあります)
 ○参加費 (シンポジウム・講習会・セミナー)
 (該当するものを○で囲み、金額を記入してください)

該当を○	会員・研究会登録会員・非会員・学生
金 額	

・参加費には資料代が含まれています。
 ・3日前までに連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○懇親会費 _____ 円
 ○資料のみ (送料込) _____ 冊 _____ 円
 通信欄

○アンケート (宿泊付の場合の部屋割りの参考にします)
 (1) たばこ: ☐すう ☐すわない
 (2) 年齢: ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代以上
 その他ご要望があればお書きください。

分 冊	定 価	部数	金 額
第1分冊	6,000円		
第2分冊	6,000円		
第3分冊	6,000円		
第4分冊	6,000円		
第5分冊	6,000円		
第6分冊	6,000円		
セット	36,000円		
※送料			
※ 参加費	会員 2,000円		
	一般 4,000円		
懇親会			
合 計			

※送料は冊数を問わず同一料金。

北海道・九州 1,400円、中国・四国 1,300円、

東北・中部・北陸 1,000円、関西 1,100円、関東 900円

○送金明細

支 払 方 法 (該当を○してください)	a) 当日、会場受付にて支払います。		
	b) 現金書留で _____ 月 _____ 日に送金します。		
	c) 郵便振替 (00150-4-83484) で _____ 月 _____ 日に送金します。		
	d) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で _____ 月 _____ 日に送金します。		
	1. 第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945		
	2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608		
	1,2とも名義人 社団法人 情報処理学会		
送 金 人 名 義	3. 三菱銀行虎ノ門公務部 0003774 (全国大会専用口座)		
	名義人 社団法人 情報処理学会講習会		
請 求 書 類	請求書 通	見積書 通	納品書 通
	請求先		

申込先: (社) 情報処理学会 事業係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7階
 Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail: simanuki@ipsj.or.jp
 e-mailでの申込みの場合は、本申込書の事項をもれなく明記し、お送りください。

通信・送付先

住所 〒	
機関・部課名	
フリガナ	会員番号
氏 名	様 ()
Tel. _____	(ext. _____) Fax. _____

行事 No. S-GW94

「グループウェア'94 シンポジウム」参加者募集

標記シンポジウムに、多数の論文をご応募いただきありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

テ ー マ 組織運営と知的創造環境支援
 Keyword 組織における高次の人間行動支援の総合的環境（技術／組織／行動科学）
 G W 実現と評価、協調行動支援の方法論、その他 G W 研究／開発／調査／報告
 日 時 平成 6 年 11 月 24 日（木）10：00～17：30
 11 月 25 日（金）10：00～17：00
 会 場 NTT 麻布セミナーハウス
 〒106 東京都港区南麻布 4-5-63（地下鉄日比谷線広尾駅下車、三菱銀行角曲がる、徒歩 3 分）
 Tel.(03)3440-5454 Fax.(03)3440-5460
 主 催 情報処理学会 グループウェア研究会
 参 加 費 グループウェア研究会登録会員 10,000 円 会員 15,000 円 学生 3,000 円 非会員 25,000 円
 （いずれも論文集を含む） 論文集のみ 5,000 円（送料込）
 申込方法 本号会告欄の行事申込書を郵送または Fax で送付のこと（会場受付も可能）。
 申 込 先 （社）情報処理学会 シンポジウム係
 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7 F
 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

プ ロ グ ラ ム

11 月 24 日（木）

座長挨拶 [10：00～10：10] 松下 温（慶大）
 基調講演「マルチメディアおよびグループウェアと今後の企業・社会」[10：10～11：30] 牧野 昇（三菱総研）
 特別講演「マルチメディアインフラストラクチャ&サービス」[11：30～12：10] 松下 温（慶大）

－ 昼 食 [12：10～12：50] －

セッション 1 [12：50～14：50] 座長 上野元司（東芝）
 S1-1 CW(Cooperative Work：協調行動理解)の研究動向 [12：50～13：20] 村瀬一郎（三菱総研）
 S1-2 グループウェアの定量評価：長期挙動からのアプローチ [13：20～13：50] 山上俊彦（NTT）
 S1-3 日本企業における電子的社会場：探索的ケース・スタディ [13：50～14：20]

栗原宏文（東燃システムプラザ）

S1-4 グループワーク対象のジョブデザインにおける設計フレームワーク [14：20～14：50]
 柳田純子（富士ゼロックス）、柴田悟一（横浜市大）

－ 休 憩 [14：50～15：00] －

セッション 2 [15：00～17：30] 座長 星 徹（日立）

S2-1 分散共通ハイパーメディア VIEW MEDIA における関連オブジェクト管理 [15：00～15：30]
 上林弥彦、木實新一（京大）、香川修見（広島電機大）
 S2-2 対話オブジェクトを格納する分散共有記憶を用いたマルチユーザーインターフェイス [15：30～16：00]
 越塚 登（東工大）、坂村 健（東大）

S2-3 通信衛星を用いた遠隔教育システム [16：00～16：30]
 石母田玄、葛岡英明（筑波大）、鈴木龍太郎、近藤喜美夫（文部省）

S2-4 書類回覧業務を対象としたワークフロー管理方式 [16：30～17：00]
 伊勢広敏、近藤博文、田代 勤（日立）

S2-5 Knowledge Workplace：知的創造環境を支援する情報システムモデルの考案
 江谷典子（富士ゼロックス情報システム）

11 月 25 日（金）

セッション3 [10:00~12:00]

S3-1 組織知能とタスクフォースモデル [10:00~10:30]

S3-2 EGMB 概念による組織運営と知的創造支援 [10:30~11:00]

S3-3 ビジネスシステムにおけるワークフローモデリングとスケジューリング [11:00~11:30]

S3-4 ワーキングスタイルやマネジメントスタイルに与えるグループウェアの影響 [11:30~12:00]

座長 山上俊彦 (NTT)

中村雅之, 生天目章 (防衛大)

沢 恒雄 (名桜大)

稲本 惇 (三菱)

太田秀一 (ベンリサーチ)

—昼 食 [12:00~13:00]—

特別講演「リエンジニアリングと組織変革」[13:00~14:20]

梅沢 豊 (東大)

—休 憩 [14:20~14:30]—

パネルディスカッション「知的創造環境の構築にむけて—組織構造とグループウェアのかかわり」[14:30~17:00]

座長 守屋康正 (富士ゼロックス)

パネラ: 梅沢 豊 (東大), 小島芳次 (日本IBM), 萩原直明 (富士ゼロックス),
阪田史郎 (NEC), 西村 孝 (NTT)

書評・ニュース募集のお知らせ

情報処理学会学会誌編集委員会では、学会誌「情報処理」に掲載する書評、およびニュースを広く会員の皆さまから募集しています。

●募集対象 つぎの2種類の記事について、原稿を募集します。

- 書 評—過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- ニュース—情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

●応募資格 原則として本学会員に限ります。

●応募の手続き 原稿は、本会所定の原稿用紙か、ワープロ等を用いる場合はA4判の用紙に22字×44行の字詰めで書いて、応募先あてにお送りください(電子メールの場合も同じ字詰め)。

- 表 題—書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
ニュースは、見出しを書く。書評、ニュースの別を左肩に書く。
- 評者名・所属・評者連絡先(住所、Tel., e-mail等)の記載を忘れずに。
- 本 文—書評は1900字前後で、ニュースは1000字前後で書く。
- (必要であれば)参考文献、付録、図、表を付ける。
- 筆者の自己紹介、氏名、会員の種別、経歴などを書く。(投稿時に顔写真は不要)

詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」(1994年6月号掲載)を参照してください。

●原稿の取扱い 投稿された原稿は学会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。書評の場合は評者の顔写真を掲載しますので、掲載決定後に写真を送っていただくことになります。

●問合せ・応募先 原稿用紙の購入先、原稿の送付先、および問合せ先は次のとおりです。

(社)情報処理学会 書評係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail: matumoto@ipsj.or.jp

行事 No.	S-D B S 94-2
--------	--------------

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム' 94 及び併設講習会」参加者募集

ーネットワーク社会とデータベースー

近年、ネットワークの超高速化、広帯域化、高機能化技術が急速に進展し、ネットワーク環境は大きく変化しつつあります。この変化がデータベースシステムに与えるインパクトは非常に大きく、我々はどう対処していくのか真剣に議論しておく必要があります。実際、この新しいネットワーク環境のもとで大規模分散型データベースや分散型マルチメディア環境が現実的なものとなり、それらのシステムを支えるための大規模データベース設計/管理、分散型オブジェクト管理/運用、実時間性、ダウンサイジング、知的データベースインタフェース等の研究開発が改めて重要な課題となっています。

そこで、本シンポジウムでは、このような視点から来るべきネットワーク社会とデータベースのあり方を求めて、データベースに関係する最新の研究成果/システム開発及び利用状況を集集し、今後の進むべき方向を展望します。

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム' 94 講習会」

日 時 平成6年12月7日(水) 9:30~17:00
 会 場 工学院大学3F 312教室(東京都新宿区西新宿)
 主 催 (社)情報処理学会 データベースシステム研究会
 参 加 費 研究会会員 9,000円 正会員 10,000円 学生会員 2,000円 非会員 15,000円
 申込方法 本号会告欄の行事申込書をご使用ください。
 申込締切 平成6年11月25日(金)

プ ロ グ ラ ム

「ネットワークOSの技術動向」[9:30~11:00]

小山 実(ノベル)

「分散オブジェクトの実装 - CORBA 準拠のSOM/DSOM 概説 -」[11:15~12:45]

安藤 晃(日本IBM)

「オブジェクト指向COBOLの標準化動向」[13:45~15:15]

西尾 高典(日立)

「SQL3の概要と標準化動向」[15:30~17:00]

芝野耕司(東京国際大)

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム' 94 本会議」

日 時 平成6年12月8日(木), 9日(金) 9:30~17:00
 場 所 工学院大学3F 312教室(東京都新宿区西新宿)
 主 催 (社)情報処理学会 データベースシステム研究会
 参 加 費 研究会会員 13,500円 正会員 15,000円 学生会員 3,000円 非会員 20,000円
 申込方法 本号会告欄の行事申込書をご使用ください。
 申込締切 平成6年11月25日(金)

プ ロ グ ラ ム

12月8日(木)

<基調講演> [9:00~10:00]

「新しいデータベースシステム技術の展望」

増永良文(情報大)

<分散データベースとトランザクション処理> [10:00~11:30]

- 「移動体環境におけるデータベースビュー」 劉 渤江(阪大), 塚本昌彦(シャープ), 西尾章治郎(阪大)
 「高効率トランザクション処理用 Trinity アーキテクチャのフロー解析」<S> 高橋正行, 掛下哲郎(佐賀大)
 「産業用分散データベースにおける実時間複製データ管理方式」<S> 高田秀志, 宗像浩一, 竹垣盛一(三菱)
- <招待講演1> [12:40~13:40]
 「ネットワーク社会とデータベース研究への期待」 松下 温(慶大)
- <招待講演2> [13:40~14:40]
 「オープン時代のシステム構築技術」 川妻庸男(富士通)
- <マルチデータベース> [15:00~16:05]
 「マルチデータベースシステム Jasmine/M におけるスキーマの構造的変換」 久保田和己, 石川 博(富士通研)
 「An Integration Data Model and Language for the Conventional Multidatabase System」<S>
 Ge Yu, Guoren Wang, Huaiyuan Zheng(Northeastern Univ. Shenyang),
 Guanyi Bai, 牧之内顯文(九大)
- <オブジェクト指向データベース> [16:05~17:25]
 「オブジェクトの状態変化を表現可能なデータモデル」 牛尼剛聡, 渡辺豊英(名大)
 「関係データベースアプリケーションのオブジェクト指向化」 森本康彦, 福田剛志, 何 千山, 小坂一也(日本IBM)
- 12月9日(金)
- <招待講演3> [9:00~10:00]
 「インターネットの現状と将来」 中村 修(慶大)
- <マルチメディアデータベース> [10:00~11:30]
 「ハイビジョン画像データベースの構築技術の研究—情報検索のための分類体系とGUI—」 石田順一(IPA)
 「ユーザフレンドリで高効率な地球観測衛星データのカatalog情報管理・提供方式」<S>
 祖父江真一(宇宙開発事業団), 新井康平(佐賀大), 吉田文良, 落合 治, 小川美奈(宇宙開発事業団),
 関口峰男, 関谷知孝, 高木正夫(リモートセンシング技術センター)
 「絵本データベースの構築—主人公・主題・特性等の諸相をキーワードとして—」<S>
 志村尚夫(情報大), 隈元 恒(岡山県総合文化センター)
- <招待講演4> [12:40~13:40]
 「米国の情報スーパーハイウェイ構想と日本の対応」 横山光雄(郵政省)
- <ネットワーク管理と情報資源管理> [13:40~14:45]
 「NEIS: Network Environment Information System」 堀切敬一(AIC), 布川博士(宮城教育大),
 新井恒博, 風間敬一(AIC), 増永良文(情報大)
 「データモデリングによる電気通信ネットワークの情報基盤整備」<S> 館 裕之, 堀田英一, 横山雅明(NTT)
- <招待講演5> [15:05~16:05]
 「ビデオサーバとビデオオンデマンド」 アレンマイナー(日本オラクル)
- <ハイパーメディアと時間管理> [16:05~17:25]
 「ネットワーク環境下における動画ハイパーメディア実装方式」 平田恭二, 川崎成人, 高野 元, 原 良憲(NEC)
 「時区間に基づく拡張時間データモデル」 福田紀彦, 天竺俊之, 金森吉成(群馬大), 増永良文(情報大)

参加費の割引について

講習会と本会議の両方に参加される場合は、割引料金となります。また、データベースシステム研究会の会員は、正会員の参加費の1割引きになります。具体的には、以下のとおりです。

●参加費

(1) 本会議及び併設講習会に参加

研究会会員	18,000 円	正会員	20,000 円	学生会員	4,000 円	非会員	28,000 円
-------	----------	-----	----------	------	---------	-----	----------

(2) 本会議のみ参加

研究会会員	13,500 円	正会員	15,000 円	学生会員	3,000 円	非会員	20,000 円
-------	----------	-----	----------	------	---------	-----	----------

(3) 併設講習会のみ参加

研究会会員	9,000 円	正会員	10,000 円	学生会員	2,000 円	非会員	15,000 円
-------	---------	-----	----------	------	---------	-----	----------

参加費には、論文集代(本会議)、資料代(併設講習会)が含まれています。

●本会議論文集のみ(6,000 円, 送料込)

●併設講習会資料のみ(3,000 円, 送料込)

「第36回プログラミング・シンポジウム」参加者募集

自由な雰囲気の中で計算機の無限の可能性を討論し、開拓することを目指した「プログラミング・シンポジウム」が今年も下記の通り開催されます。興味をお持ちの方の広範な参加を期待します。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入の上お申し込みください。

日 時 平成7年1月10日(火) 11:00 受付開始(この日の昼食は用意しません) 13:00 開会
12日(木) 12:00 閉会

会 場 箱根ホテル小涌園(神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297) Tel.(0460)2-4111
路線バス: 小田原駅表口<登山バス>箱根町行~小涌園前 約40分, 箱根湯本駅~小涌園前 約30分
タクシー: 小田原駅表口箱根町行~小涌園前 約30分, 箱根湯本駅~小涌園前 約20分

参 加 費 (予稿集代, 宿泊費, 食費を含む, 括弧内は非会員参加費)
一般 43,000円(48,000円) 大学院学生 30,000円(35,000円)
*二つ以上の身分をお持ちの場合は, 高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1994年11月30日(水)

- 注) ・参加申込後, やむを得ず参加を取消される場合は12月16日(金)までにお願ひします。取消の連絡の無い場合は, 準備の都合上, 参加費を徴収させていただきます。事情による代理の方の参加は認めます。
- ・会場, 宿泊施設の都合で, お申込に応じ兼ねる場合がありますので, あらかじめご了承ください。
 - ・同一所属からの参加者数は適宜にご調整下さい。
 - ・開催期間中での中途での出入りや, 人員の交替はご遠慮下さい。

プ ロ グ ラ ム

第1日1月10日(火)

開会の辞 [13:00~13:15]

セッション1 [13:15~15:15]

- ・非同期編集向き分散ファイルの試み 高橋俊成(東芝)
- ・ペンインタフェースを用いた分散KJ法システム 中島一彰, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡(農工大)
- ・ポスター発表の紹介 ポスター発表者

— 休 憩 [15:15~15:35] —

セッション2 [15:35~17:35]

- ・オブジェクト駆動型リアルタイムシステムの構築と解析 吉田 聡, 大原茂之(東海大), 沢田 勉(エルグ)
- ・マルチメディアと情報の表現 砂原秀樹(奈良先端大/電通大)
- ・コンピュータ将棋のための標準テスト問題作成の試み 松原 仁(電総研), 飯田弘之(新技術事業団)

— 夕 食 [18:00~19:00] —

自由討論 [19:30~]

第2日1月11日(水)

セッション3 [9:00~10:20]

- ・演奏表情の表現と重奏システムへの応用 五十嵐滋, 辻 尚史, 千葉大春, 松下昌弘(筑波大)
- ・構文にS式を使った画像処理システムの作成 別府二郎, 多田好克(電通大)

— 休 憩 [10:20~10:40] —

セッション4 [10:40~12:00]

- ・3次ベジエ曲線の一表現法 大野義夫(慶応義塾)
- ・マルチプレイヤーゲームを作ってみたら—ギャラクティックフリートレーダーズ製作記— 柏川正充(お茶の水大)

— 昼 食 [12:00~13:20] —

招待講演 [13:20~14:50]

- ・免疫と情報 多田富雄(東京大学名誉教授)

— 休 憩 [14:50~15:10] —

セッション5 [15:10~17:10]

- ・冷たい心でも協調は可能かー自律エージェントの協調発現の論理ー 伊藤 昭, 矢野博之 (郵政省)
- ・リアルタイム時相表現ー状態機械によるソフトウェア仕様記述手法の提案ー 山根 智 (島根大)
- ・意味コンピューティングに向けて 尾内理紀夫, 高田敏弘, 鷺坂光一 (NTT基礎研)

報告 [17:10~17:30]

- ・夏のシンポジウム, GPCC, 山内賞の報告

ー夕食 [18:00~19:00]ー

自由討論 [19:30~]

第3日1月12日(木)

セッション6 [9:00~10:20]

- ・自動生成を考慮した制約の定義 添野 隆, 宮寺庸造, 近谷英昭 (電機大)
- ・C言語に対する形式的意味記述の一手法 篠崎政久, 宮寺庸造, 米田信夫 (電機大)

ー休憩 [10:20~10:40]ー

セッション7 [10:40~12:00]

- ・高級言語からFPGAへの部分コンパイルによる高速化技法の研究 斉藤正伸, 多田好克 (電通大)
- ・自然言語処理における統計情報と文法 堤 純也, 斎藤博昭 (慶応義塾)

閉会の辞 [12:00~12:10]

米田委員長

ー昼食 [12:10~]ー

ポスターセッション

- ・ペン指向ウィンドウシステム「未(HITSUJI)」の研究 玉山尚太郎, 小島大吾, 平井孝史, 中島一彰, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・囲碁対局システムの研究 吉田 真, 丸山 啓, 丸山真佐夫, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・日本語文章作成環境の研究 天野純一, 伊藤 聡, 丸山芳男, 雀ヶ野史子, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・システム構成を容易に変更できるOS OS/omicon V4 早川栄一, 森永智之, 加藤泰志, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・文書創作活動を支援する手書き計算機環境の一つの試み 加藤直樹, 中川正樹 (農工大)

*デモンストレーションの場を用意しています。展示御希望の方は当日ご用意下さい。

*一般講演は発表25分, 討論15分を予定しています。なお, 日程については若干の変更があるかもしれません。

*自由討論のテーマは参加者からアイデアを募り, 当日決定します。奮ってご参加下さい。

*最終日は閉会后, 昼食の用意をしています。

「第36回プログラミング・シンポジウム」 参加申込書

平成6年 月 日

1. 参加区分
- | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------|
| | 会 員 | 非会員 | 会員番号 _____ |
| 一般 | ☐ (43,000 円) | ☐ (48,000 円) | |
| 大学院学生 | ☐ (30,000 円) | ☐ (35,000 円) | |
- ※参加区分は、該当の□の中にレを入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

2. 送金、支払い方法

a) 当日持参します。

b) 〒 _____ 也を次の方法で送金します。(送金日 _____ 月 _____ 日)

b-1) 現金書留 b-2) 郵便振替 (00150-4-83484) b-3) 銀行振込 (_____ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人：社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

請求先名義 _____

3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

- ・年齢は _____ 歳・内緒 男・女
- ・宿泊室は 喫煙室希望・禁煙室希望, 早寝希望
- ・そのほか特に希望があればご記入ください。

4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

- ・夜の自由討論の希望テーマ _____
- ・デモンストレーション希望 _____

5. 申込み先 (下記まで郵送か Fax で送付のこと)

情報処理学会 「プログラミング・シンポジウム」係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7 F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

申込者

連絡先 〒 _____

機関・

部課名 _____

フリガナ _____

氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

e-mail _____ (公開可能な方のみ)

注) 枠内をコピーして宛先として案内を郵送できるようご記入ください。

「1995 年情報学シンポジウム」参加者募集

—情報の多目的利用に向けて—

日 時 平成7年1月12日(木)～13日(金)9:30～17:00

場 所 日本学術会議講堂 〒106 東京都港区六本木7-22-34 (地下鉄千代田線, 乃木坂駅下車)

共同主催 日本学術会議 情報学研究連絡委員会

情報学基礎専門委員会

学術文献情報専門委員会

学術データ情報専門委員会

情報工学研究連絡委員会

情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会,

情報知識学会, 日本生物物理学会, 日本ソフトウェア科学会

後 援 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話, 情報科学技術協会, 情報通信学会,

電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本科学技術情報センター, 日本機械学会, 日本金属学会,

日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学会, 日本電信電話, 日本動物学会,

日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会, ICOT

申込締切 1994年12月20日(火)当日受付も歓迎しますが, 資料不足の際は事前登録者を優先します。

参 加 費 (資料代として) 共催学協会員 8,000円 学生 3,000円 一般 12,000円

懇親会費 一律 1,000円

申 込 先 (社) 情報処理学会 情報学シンポジウム係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7階

Tel. (03)5484-3535 Fax. (03)5484-3534

※当日出席できない方のために資料の郵送申込も受け付けております。

※申込書は本会告に掲載されている「行事申込書」をお使いください。掲載頁は会告目次をご覧ください。

プ ロ グ ラ ム

第1日目 1月12日(木)

組織委員長挨拶 [9:30～9:40]

土居範久(日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長)

セッション1: 情報システム [9:40～11:50]

座長: 中谷多哉子(富士ゼロックス情報)

日本化学会欧文論文誌の電子化とその利用(招待講演1)

伊藤 卓(横浜国大)

日本的情報システム開発方法論の研究(上流工程CASEの活用)

藤尾好則(熊本県立大)

タイミング制約記述を考慮した要求仕様記述手法の研究

山根 智(島根大)

制約分析によるオブジェクト指向データベース設計法

鬼塚 真, 山室雅司(NTT)

休憩 [11:50～12:50]

セッション2: 知的活動と支援環境 [12:50～15:00]

座長: 細野公男(慶大)

マスコミ情報とミニコミ情報—現状と将来への展望—(招待講演2)

(未定)

思考支援と情報システムに関する一考察

工藤浩志(富士ゼロックス情報)

情報技術者に役立つ新しいシステム思考法

楠森 昭(前橋市立工業短大)

「超」整理法ツール for UNIX

高坂雅彦, 大見嘉弘, 竹田尚彦, 河合和久(豊橋技科大)

休憩 [15:00～15:15]

セッション3: マルチメディアと大規模知識 [15:15～16:55]

座長: 木本晴夫(NTT)

大規模知識ベースの動向と課題(招待講演3)

寺野隆雄(筑波大)

分散マルチメディアシステムによる Collaboratory の構築に向けて

藤田昭平(東工大)

アコモデーションの為の情報流通へ

江谷典子(富士ゼロックス情報)

第2日目 1月13日(金)

セッション4: 文化/教育と情報 [9:30～11:30]

座長: 石塚英弘(図書館情報大)

高度情報化社会における文化系情報処理教育のあり方について
 社会情報システム論の試み
 学習情報ライブラリーの設計モデル
 データベースとしての社会

島田由美子 (多摩大)
 太田敏澄, 山本 匡 (電通大)
 福永真美, 生天目章 (学習情報通信システム研究所)
 野島久雄 (NTT)

休憩 [11:30 ~ 12:45]

セッション5: 情報管理と提供 [12:45 ~ 14:55]

企業データの分析とデータ管理—実施例に基づく報告— (招待講演4)
 構造衝突の解消と概念類似性の判定を両立したスキーマ統合
 地球観測衛星データ・情報の管理・提供手法について

座長: 中川 優 (近大)
 林 泰樹 (NTT)
 鈴木源吾, 山室雅司 (NTT)

祖父江真一, 下田陽久, 吉田文良, 小川美奈, 落合 治, 高木正夫 (宇宙開発事業団)
 ふたたび地球環境データの整備について 増田耕一 (都立大)

休憩 [14:55 ~ 15:10]

セッション6: 情報活用への期待 [15:10 ~ 16:50]

大量データに関する知識処理技術の応用 (招待講演5)
 カード操作ツールによるインターネット上のリソースアクセス

座長: 千村浩靖 (NEC)
 飯田敏幸 (NTT)

中村勝利, 大見嘉弘, 竹田尚彦, 河合和久 (豊橋技科大), 大岩 元 (慶大)
 歴史的資料情報形成の基礎的課題 八重樫純樹 (国立民族博物館)

総括 [16:50 ~ 17:00]

中川 優 (情報学シンポジウム'95実行委員長 近大)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在59名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、紙面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会編集係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail: ishimaru@ipsj.or.jp

The Third Pacific Conference on Computer Graphics and Applications

Pacific Graphics '95

Seoul, Korea, August 21-24, 1995

Organized by: SERI, KCGS, and CGS**In Cooperation with :** MOST, KISS, KITE, KICOG, IPSJ, and IEEE Computer Society
Technical Committee on Computer Graphics

Pacific Graphics is an international conference on computer graphics and applications. The conference will provide a forum for the researchers, developers, and practitioners to exchange their ideas and discuss future directions of computer graphics. The past two conferences were held in Korea (1993) and China (1994), and future conferences are planned in Taiwan (1996), Korea (1997), and Singapore (1998).

CALL FOR PAPERS

Papers presenting original research in computer graphics are being sought. Suggested topics include (but are not limited to):

- Computer Animation
- Geometric and Solid Modeling
- Physically-Based Modeling
- Synthetic Worlds
- Architectural Design
- Scientific Visualization
- Rendering Techniques
- Graphics Hardware Architecture
- Multimedia Modeling
- Virtual Reality
- Computational Geometry
- Volume Visualization

Information for Authors: Original unpublished papers of up to 10,000 words in length are invited. To submit a paper, send five copies of double-spaced manuscript in English. The first part of the paper should include a title, an abstract, keywords and phrases: author's name(s), title, affiliation, complete mailing address, phone number, fax number, e-mail address, and a signed statement of commitment that "if the paper is accepted, one of the authors will present the paper at the Pacific Graphics '95 conference". In addition, expanded versions of exceptionally high quality papers will also be published in a special issue of *The Journal of Visualization and Computer Animation*. Authors interested in such publication should request a review of their paper for the journal.

Conference Co-Chairs: M.H. Kim (SERI) and D. Thalmann (EPFL)

Program Co-Chairs: S.Y. Shin (KAIST) and T.L. Kunii (U. of Aizu)

International Program Committee: K. Anjyo (Hitachi), N. Badler (U. of Pennsylvania), C. Bajaj (Purdue U.), H. Chiyokura (Keio U.), T.S. Chua (National U. of Singapore), J.H. Chuang (Chiao Tung U.), M.F. Cohen (Princeton U.), G. Elber (Technion), R. Goldman (Rice U.), J. Hahn (George Washington U.), A. Kaufman (State U. of New York at Stony Brook), T. Kurihara (Hitachi), N. Max (U. of California & Lawrence Livermore National Lab.), N.M. Thalmann (U. of Geneva), E. Nakamae (Hiroshima Prefectural U.), T. Nishita (Fukuyama U.), T. Noma (Kyushu Inst. of Tech.), M. Ouhyoung (National Taiwan U.), H. Said (U. Sains Malaysia), T. Sederberg (Brigham Young U.), Y. Shinagawa (U. of Tokyo), M. Shinya (NTT), T. Takahashi (NTT), Z. Tang (Tsinghua U.), D. Terzopoulos (U. of Toronto), D. Thalmann (EPFL), J. Warren (Rice U.), T. Whitted (U. of North Carolina), G. Wolberg (City College of New York), T.C. Woo (U. of Michigan), G. Wyvill (U. of Otago), S. Yang (National Tsing Hua U.)

Domestic Program Committee: B.K. Choi (KAIST), K.Y. Chwa (KAIST), I. Ihm (Sogang U.), H.C. Lee (Hong-Ik U.), J.Y. Lee (Yonsei U.), K. Lee (Seoul National U.), M.W. Lee (Korea Telecom), W.Y. Lee (Korea U.), C. Kim (POSTECH), M.S. Kim (POSTECH), C.M. Kyung (KAIST), Y.G. Shin (Seoul National U.), Y.C. Wee (SAIT), K.Y. Won (KAIST), H.S. Yang (KAIST), H. Yoon (KAIST)

Important Dates: Five copies of full papers will be due **February 10, 1995**. Notice of acceptance and reviewers' comments will be given by **March 24, 1995**. Camera-ready paper will be due **May 3, 1995**.

Address Submissions and Information to:

Sung Yong Shin

Computer Science Department, KAIST

373-1, Kusung-dong, Yusung-ku, Daejeon 305-701, South Korea

E-mail: syshin@cs.kaist.ac.kr, Tel: +82-42-869-3528, Fax: +82-42-869-3510

情報処理学会シンポジウム, 講習会等論文集リスト (91,92,93,94年版)

コード 論文集名 名	開催日	値段(消費税, 送料込)	申込
[シンポジウム]			
MIC ☆マイクロコンピュータアーキテクチャ	91・11	¥4000	
DBS アドバンスト・データベースシステム	92・12	¥6000	
アドバンスト・データベースシステム	93・12	¥6000	
AI 知識のリフォーメーション	93・11	¥5000	
SE ソフトウェアプロセス	94・6	¥5000	
変革期のソフトウェア工学	94・9	¥4000	
ARC 並列処理	94・5	¥5000	
OS コンピュータ・システム	92・10	¥5000	
コンピュータ・システム	93・10	¥5000	
CV ☆画像の認識・理解 I, II	92・7	¥8000	
☆画像の認識・理解 I, II	94・7	¥8000	
DA ☆DAシンポジウム'91	91・8	¥4000	
DAシンポジウム'92	92・8	¥5000	
DAシンポジウム'93	93・8	¥5000	
DAシンポジウム'94	94・8	¥5000	
2010年マルチメディア通信と高速・知能・分散・協調コンピューティング	94・9	¥5000	
CG グラフィクスとCAD	91・11	¥5000	
研究会設立10周年記念GC作品集	91・11	¥5000	
グラフィクスとCAD	94・9	¥5000	
FI 1994情報学	94・1	¥7000	
CE コンピュータと教育	93・12	¥5000	
IM メディアと情報処理	92・10	¥5000	
GW ☆Groupware '93	93・7	¥4000	
PS 第33回プログラミング	92・1	¥5000	
☆新しいコンピューティングとプログラミング	92・7	¥5000	
第34回プログラミング	93・1	¥5000	
第35回プログラミング	94・1	¥5000	
教育 新しい時代の情報処理教育カリキュラム	94・10	¥5000	
[講習会]			
DBS アドバンスト・データベースシステム	92・12	¥3000	
アドバンスト・データベースシステム	93・12	¥3000	
働く人のためのデータベース	94・10	¥4000	
AI ☆知識ベースシステムにおける高速推論技術	92・2	¥4000	
SYM ガーベジコレクション	92・11	¥4000	
ARC ☆並列アルゴリズムと並列アーキテクチャ理論と実際	92・6	¥4000	
DPS ☆コンピュータ通信ワークショップ	91・7	¥6000	
☆マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	93・3	¥4000	
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	93・11	¥3000	
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	94・10	¥3000	
Z45 第45回全国大会チュートリアル・セッション	92・10	¥3000	
Z46 第46回全国大会チュートリアル・セッション	93・3	¥4000	

(平成6年10月25日現在)

☆在庫5冊以内です。

*全国大会のバックナンバーもあります。

*照会先/申込先: 情報処理学会 図書係 野寺 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

*連絡先

〒	
	様

請求書 _____ 通
 見積書 _____ 通
 納品書 _____ 通 合計金額 ¥ _____
 請求書宛名 _____

Tel. () -

平成 年 月 日

支部だより

東海支部 講演会

日時 平成6年12月7日(水) 15:00～17:00
会場 愛知工業大学 総合技術研究所視聴覚室
演題 ニューラルネットワークによる注視処理とウェーブレット変換 石井直宏 氏(名古屋工業大学教授)
参加費 無料(参加資格は問いません)
照会先 〒460-03 豊田市八草町八千草 1247 愛知工業大学計算センター 小池慎一 Tel.(0565)48-8121 (ext.1301)
共催 電気学会東海支部

見学会

日時 平成6年12月1日(木) 8:50～17:00
見学先 ・浜松ホトニクス株式会社 豊岡製作所(電子管事業部)(静岡県磐田郡豊岡村下神増 314-5)
・浜松ホトニクス株式会社 中央研究所(静岡県浜北市平口 5000 浜北リサーチパーク)
集合場所 地下鉄本郷駅北口(出口) 8:50 までに集合(時間厳守)
行程 9:00 出発(貸切りバス)
10:30～12:00 浜松ホトニクス(株) 豊岡製作所 見学
13:30～14:30 浜松ホトニクス(株) 中央研究所 見学
17:00(予定) 地下鉄東山線本郷駅 解散
参加資格 情報処理学会東海支部会員に限る。
参加費 1,000 円(昼食代, 当日集めます)
定員 50 名(先着順)
申込方法 往復ハガキに「浜松見学会申込み」と記入し, ①会員番号, ②氏名, ③勤務先・所属(役職), ④連絡先, 住所, Tel., Fax.を明記のうえ, 下記宛にお申込みください。
申込締切 11 月 17 日必着
申込み/ 〒460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTTデータ通信(株)東海支社内
照会先 情報処理学会東海支部事務局 Tel.(052)204-4517

北陸支部 講演会

日時 平成6年12月15日(木) 13:30～15:30
会場 (株) 沖北陸システム開発 4F 研修室(金沢市幸町 3-35)
演題 「知的 C A I とマルチメディア」 九州工業大学情報工学部知能情報工学科 大槻 説平 教授
参加費 無料(参加資格は問いません)
照会先 〒930 富山市五福 3190 富山大学工学部電子情報工学科内 情報処理学会 北陸支部事務局
Tel.(0764)41-1271 (ext.2707) または,
〒920 金沢市幸町 3-35 (株) 沖北陸システム開発 開発推進部 小川元孝 Tel.(0762)31-1448 (ext.330)

関西支部 平成6年度 第2回見学会開催のご案内

日時 平成6年12月6日(火) 13:30～15:30
会場 関西国際空港 (〒549 泉佐野市泉州空港北一番地)
内容 「旅客案内情報システム」
集合 関空会社ビル 1F 受付前
参加費 無料
定員 20 名 ※定員になり次第, 受付を締め切らせていただきます。
申込方法 ①所属機関名 ②部課, 役職名 ③氏名 ④連絡先電話および Fax 番号を, Fax にて下記事務局まで

お申し込みください。 ※受付番号をFaxにて通知しますので、受信後に、電話でご確認ください。

照会／ 情報処理学会 関西支部 担当：桑原
申込先 〒530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル 8F (財)関西情報センター気付
Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443

セミナー「ハードウェア記述言語とデジタルシステムの設計」

日 時 平成6年12月15日(木) 10:00～16:00
会 場 INSプラザ センターホール (〒530 大阪市北区堂島 3-1-12 NTTデータ堂島ビル)

プログラム

10:00～ 「システム設計手法と記述言語の動向」 九州大学 大学院総合理工学研究科
11:00 情報システム学専攻 教授 安浦 寛人 氏
11:00～ 「VHDL言語とその設計環境および設計事例(題目未確定)」
12:00 豊橋技術科学大学 情報工学系 助教授 今井 正治 氏
12:00～13:00 [昼食]
13:00～ 「ハードウェア記述言語SFLとPARTHENON」 日本電信電話(株) 情報通信研究所
14:00 高速通信処理研究部 分散システム基本技術研究グループ主幹研究員 小栗 清 氏
14:00～ 「Verilog HDLベースのシステム設計環境および設計事例」
15:00 三菱電機(株) システムLSI開発研究所 野路 保 氏
15:00～ 「論理合成時代のハードウェア記述言語UDL/I」
16:00 日本電信電話(株) 設計システム研究部 星野 民夫 氏

定 員 約100名(先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
参加費 会員 10,300円 会員外 11,330円 学生会員 5,150円 (いずれも消費税を含む)
申込み／ 〒530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル 8F (財)関西情報センター気付
照会先 情報処理学会 関西支部 担当：桑原 Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443
主 催 情報処理学会 関西支部

中国支部 講習会「最新マルチメディアの展望」

日 時 平成6年12月2日(金) 9:20～17:00
会 場 中国電力1号館 2F 大会議場 (広島市中区小町4-33)

プログラム

時 間	講 演 題 目	講 師
9:20～9:30	支部長挨拶	広島大学工学部 阿江 忠 氏
9:30～10:50	総 論—マルチメディアコンピューティング	広島大学工学部助教授 平川正人 氏
10:50～12:10	マルチメディアの展開とネットワークの将来動向	NTT(株) 通信網研究所 ネットワーク・テクノロジ研究部長 北見憲一 氏
12:10～13:10	昼食・休憩	
13:10～14:30	マルチメディアの最新事例	日本電気(株) 情報メディア研究所 情報応用研究部長 高島洋典 氏
14:30～15:50	業務用情報処理システムのマルチメディア化	(株) 東芝メディア技術研究所 課長 近藤 隆志
15:50～16:00	休 憩	
16:00～17:00	パネル討論会	全 講 師

定 員 100名(定員に達し次第締切ます)
参加費 会員 8,000円 学生 4,000円 非会員 10,000円 (共催学協会員は会員資格があります。)

申込方法 ハガキまたはFaxにて「最新マルチメディアの展望」に関する講習会申込み、と標記し、①氏名、②所属学会、③勤務先・連絡先、④送金日・送金額を記入して下記申込先宛お申込みください。
参加費は銀行振込または現金書留にてご送金下さい。

送金先 広島銀行西条支店 普通預金 口座番号 185030 情報処理学会中国支部
申込先 〒724 東広島市鏡山 1-4-1 広島大学工学部第二類（電気系）内 情報処理学会 中国支部 担当 中村庚二
Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195

主催 情報処理学会 中国支部
共催 電気学会、電子情報通信学会、テレビジョン学会、照明学会、計測自動制御学会、日本電気技術者協会の各中国支部

本会協賛等の行事案内*

<国内会議>

人間生活工学サミット

平成7年2月6日（月）～7日（火）

大阪国際交流センター

平成7年電気学会産業応用部門全国大会

平成7年8月23日（水）～25日（金）

茨城・日立シビックセンター

第6回画像入力シンポジウム

平成6年11月15日（火）

東京・工学院大学

第211回講習会「携帯電話、PHSを支える精密技術」

平成6年12月9日（金）

東京・家の光会館

第15回計算電気・電子工学シンポジウム

平成7年3月23日（木）～24日（金）

東京・日本科学技術連盟

第10回記念OA全国総合大会

平成7年2月27日（月）～28日（火）

東京・虎ノ門バストラル

平成6年度第3回ORセミナー「確率過程とファイナンス」

平成6年11月22日（火）

東京ガス本社

第21回知能システムシンポジウム

平成7年3月29日（水）～30日（木）

東京工業大学

日本鉄鋼協会創立80周年記念懸賞作文「鉄-21世紀への夢」

平成7年3月31日（金）締切

（社）日本鉄鋼協会

第25回信頼性・保全性シンポジウム

平成7年7月6日（木）～7日（金）

東京・日本青年館

第44回システム制御情報講習会「マルチメディア社会-魅力・現状・将来-」

平成7年2月2日（木）～3日（金）

大阪府教育会館

平成7年2月8日（水）～9日（木）

東京・三田ホール

第55回ロボット利用技術講習会

平成6年12月1日（木）～2日（金）

東京・電機工業会館

平成6年12月8日（木）～9日（金）

大阪府谷町福祉センター

<国際会議>

光コンピューティング国際会議

1996年4月21日（日）～25日（木）

仙台国際センター

The 3rd Pacific Conf.on Computer Graphics and Applications

August 21-24, 1995

Seoul, Korea

第11回トロンプロジェクト国際シンポジウム

1994年12月5日（月）～8日（木）、10日（土）

東京大学他

* 詳細は本号会議案内欄参照

ACM, IEEE-CS 入会の特典

情報処理学会は、ACMと Joint Membership, IEEE-Computer Society(CS)とは Affiliate Membership (準会員)の契約をそれぞれ結んでいます。しかし、その内容あるいは特典は若干異なります。下記を参照してください。入会申込書は学会事務局にあります。郵送ご希望の方は直接各東京事務所にお問合せください。

ACM: Tel.(03)5466-1761

IEEE-CS: Tel.(03)3408-3118

ACM 入会特典	IEEE-CS 入会特典
正会員会費 (US\$79)が、割引 (US\$64) になる。 * Communication of the ACM (月刊) の配布。 * ACMの Journal や Transactions などの刊行物を会員価格で入手できる。 * ACMの conference は会員参加費で参加できる。 * Special Interest Groups (SIGs) に会員参加費で加入できる。	正会員入会の特典はない。(正会員会費 US\$111)
	準会員の特典がある。(準会員会費 US\$61) * COMPUTER Magazine (月刊) の配布。 * CSの conference は正会員参加費で参加できる。 * CSの Magazine, Transactions などの刊行物は正会員価格で入手できる。(ただし Spectrum は除く) * Technical Committee に参加できる。
準会員 (Affiliate Member)の制度はない。 なお、現在 US \$ 59 で、特別に会員募集中	その他の特典 * 準会員にならない場合でも情報処理学会会員は所定の割引価格でCSの Magazine, Transactions を購入可。

ACMの主要刊行物	Code		US \$
Communication of the ACM (monthly)	101	(additional subscription only)	27.00
Journal of the ACM (bimonthly)	102		36.00
Computing Surveys	103		17.00
Computing Reviews (bimonthly)	104		36.00
Collected Algorithms Vol 1-5	105		220.00
Includes one year's supplements			
Guide to Computing Lit.(book)	107		99.00
StandardView	121		25.00
Transactions on:			
Mathematical Software	108		28.00
Database Systems	109		27.00
Programming Languages and Systems (bimonthly)	110		35.00
Graphics	112		32.00
Information Systems	113		28.00
Computer Systems	114		28.00
Software Eng. and Methodology	115		24.00

IEEE-CSの主要刊行物		会員/準会員 (会費に含む)	当学会員割引価格 US \$
Computer	(月刊)		40.00
Computer Graphics & Applications	(隔月刊)	US \$ 29.00	53.00
Design & Test of Computers	(季刊)	26.00	47.00
Expert	(隔月刊)	24.00	44.00
MICRO	(隔月刊)	27.00	49.00
SOFTWARE	(隔月刊)	29.00	53.00
IEEE Annals of the History of Computing	(季刊)	19.00	42.00
Parallel & Distributed Technology	(季刊)	24.00	44.00
Computational Science & Engineering	(季刊)	20.00	32.00
MultiMedia	(季刊)	20.00	36.00
Transactions on:			
Computers	(月刊)	29.00	53.00
Pattern Analysis & Machine Intelligence	(月刊)	29.00	53.00
Software Engineering	(月刊)	28.00	51.00
Knowledge & Data Engineering	(隔月刊)	29.00	53.00
Parallel & Distributed Systems	(月刊)	29.00	53.00
VLSI Systems	(季刊)	15.00	27.00
IEEE/ACM Transactions on Networking	(隔月刊)	25.00	45.00

会費・購読費の預金口座自動振替をぜひご利用ください

希望される正会員（学生会員は対象としません。）は、下記記載事項をご確認のうえ、預金口座振替依頼書に必要事項をご記入いただき、お申込みくださるようお願いいたします。

なお、新入会時の入会金・会費・購読費にはご利用できませんが、翌年度会費・購読費から取扱いますので、入会手続きの際に同時にお申込みください。

記

1. 対象会員：正会員（一括扱い会員は除く）
2. 対象金融機関：都市銀行、地方銀行、信託銀行、長期信用銀行、信用金庫、労働金庫(信用組合、郵便局、農協は除きます)
3. 口座振替費目：正会員費・論文誌購読費
4. 申込方法：預金口座振替依頼書により学会事務局会員係へお申込みください。
5. 振替日：3月または7月の27日（休日の場合は翌営業日）に年額を振替えさせていただきます。
6. 依頼書の記入要領
 - (1) 口座名義人：預金通帳の名義人です。（フリガナもご記入ください。）
 - (2) 銀行への：預金通帳とご照合のうえ、鮮明にご捺印ください。また、捺印を必ずご捺印ください。
お届け印
 - (3) 会員番号：会員番号（学会誌等送付用封筒の宛名ラベルに記載）および会員の氏名を記入してください。
会員氏名
 - (4) 指定口座：金融機関名、支店名、店番号、種目（普通／当座）、口座番号等は、必ず預金通帳にてご確認のうえご記入ください。
7. 預金通帳の摘要欄：「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。
8. 申込み・問合せ先：（社）情報処理学会 会員係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

海外からの送金方法について

海外からの会費、論文誌購読費、各種行事参加費、各種図書購入費等については、円またはドルの銀行小切手により送金されていますが、次のような問題があります。

1. 銀行小切手作成の手間がかかる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により、常に過不足を生じ、経理上支障がある。
3. 円またはドルに拘らず、1,500 ~ 2,500 円の換金手数料をとられる。

この点を改善するため、海外からは [VISA][MasterCard][American Express]および[Diner's Club]により円建て送金できるようにしました。なお、申込書様式は下記のとおりで、A 4 判用紙を用い必ず郵送してください(Fax は不可)。

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN

Shibaura-Maekawa Bldg.7F, 3-16-20, Shibaura, Minato-ku Tokyo 108, JAPAN

Phone : +81-3-5484-3535 Fax : +81-3-5484-3534

I wish to pay with my credit card.

Circle one : ☐ MasterCard ☐ VISA ☐ American Express ☐ Diner's Club

- (1) Card number _____
- (2) Expiry date _____ / _____
- (3) Full name of holder as it appears on the card _____
(Membership Number _____)
- (4) Amount _____ Japanese Yen
- (5) Details (annual fees, journal, etc.) _____

- (6) Mailing address _____

(City) _____ (Postal Code) _____ (Country) _____
Phone _____ Fax _____
Date _____ / _____ / _____
Signature _____

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to : Information Processing Society of Japan

Bank account no.046 - 1013945

Toranomon Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

教官募集



●名古屋経済大学経済学部

募集人員 下記担当科目につき助教授または講師各1名
 担当科目 経営情報論および関連科目、または消費経済学および関連科目
 応募資格 大学院博士課程修了者（含、見込）またはこれと同等以上の業績を有する方で、本学所在地の周辺に居住可能な方。上記科目の前者は生産管理論、後者は計量経済学の担当可能者が望ましい。
 着任時期 平成7年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（コピー可、3点以内）
 応募締切 平成6年11月30日
 送付先 〒484 大山市内久保 61-1 名古屋経済大学人事部 「経営情報論公募書類在中」、または「消費経済学公募書類在中」と朱書 Tel.(0568)67-0511 (ext.1225)
 照会先

●龍谷大学理工学部数理情報学科

募集人員 助教授または講師1名
 担当科目 記号処理、情報論理、計算機基礎実習（UNIX、WS、ネットワーク）等
 専門分野 情報科学
 応募資格 博士号取得者（講師の場合も有することが望ましい）で35歳以下の方
 着任時期 平成7年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（コピー可）、推薦書（自薦可）
 応募締切 平成6年12月3日
 送付先 〒520-21 大津市瀬田 龍谷大学理工学部数理情報学科 松本和一郎 「応募書類在中」と朱書し書留
 照会先 Tel.(0775)43-7510, 7523 Fax.(0775)43-7524

●小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員 助教授1名
 所属 社会と情報講座
 担当科目 応用統計学およびソフトウェア工学（社会計画に関連した社会調査に研究の重点を置いていることが望ましい）
 応募資格 博士課程修了者（含、見込）またはこれと同等以上の業績を有する着任時40歳未満の方
 着任時期 平成7年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（以上書式あり、ご請求ください）、業績抜刷等の資料、指導教官の推薦書（大学院生のみ）、学部および大学院の成績証明書（見込者は修了見込証明書）
 応募締切 平成6年12月15日
 送付先 〒047 小樽市緑 3-5-21 小樽商科大学長 「応用統計学担当教官応募書類」と朱書し書留
 照会先 庶務課人事係 Tel.(0134)23-1101(ext.505)

●小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員 助手 2 名
 所 属 計算科学講座および社会と情報講座各 1 名
 担当科目 教育補助（プログラミング演習等）、若干の学科業務
 専門分野 OR、情報科学等の関連領域
 応募資格 修士課程修了者、またはこれと同等以上の業績を有する着任時 28 歳未満の方
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（以上書式あり、ご請求ください）、業績抜刷等の資料、研究・教育計画書またはコンピュータプログラミングの経験・実績を示す資料、学部および大学院の成績証明書、指導教官の推薦書（大学院生のみ）
 応募締切 平成 6 年 12 月 16 日
 送 付 先 〒 047 小樽市緑 3-5-21 小樽商科大学長 「社会情報学科助手応募書類」と朱書き書留
 照 会 先 庶務課人事係 Tel.(0134)23-1101(ext.505)

●愛知教育大学総合科学課程

募集人員 助手 1 名
 所 属 情報科学コース
 担当科目 システム設計、システム最適化、プログラミング実習等
 専門分野 情報工学またはシステム工学
 応募資格 修士の学位を有する方、または専門分野についてこれと同等以上の能力があると認められる方。（昭和 39 年 4 月 2 日～昭和 45 年 4 月 1 日までに生まれた方に限る）
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（書式あり、ご請求ください）、著書・論文等の資料およびその目録、健康診断書（国公立病院か保健所発行のもの）、推薦書
 応募締切 平成 6 年 12 月 24 日
 送 付 先 〒 448 刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学庶務部人事課人事係 Tel.(0566)36-3111(ext.226)
 照 会 先 情報科学選修代表 平田賢一 Tel.(0566)36-3111(ext.822)

●茨城大学工学部

募集人員 講師（専門教育教官）1 名
 所 属 共通講座
 担当科目 当学部ならびに大学院工学研究科に属する留学生を対象に以下の科目を担当
 ・工業日本語ゼミナール（科学・工業技術の用語、作文を含む日本語）
 ・情報処理実習（基礎知識と技術）
 ・実験技術実習（安全管理についての指導）
 ・留学生の勉学、生活の相談相手
 ・当学部における国際交流の推進に協力する
 応募資格 大卒以上で日立市およびその周辺地域に居住できる 30 ～ 60 歳程度の方
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、主要論文別刷、最終学歴証明書、「留学生教育に対する経験若しくは抱負」と題する小論文（1600 字程度）、推薦書
 応募締切 平成 6 年 12 月 31 日
 送 付 先 〒 316 日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学工学部長 湧井源二郎
 照 会 先 Tel.(0294)35-6101, Fax.(0294)37-2809
 そ の 他 留学生受入れにともなう募集です。

●九州工業大学情報工学部電子情報工学科

募集人員 助教授 1 名
 担当科目 OS, オートマトン理論, 論理数学 E, データ構造とアルゴリズム, プログラミング等 (学部)
 計算機システム特論 I, II (大学院)
 専門分野 計算機工学
 応募資格 博士号取得者で大学院での指導が可能な 30 ~ 40 齢位の方
 着任時期 決定後なるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (5 編程度, コピー可), 今までの研究概要及び将来の抱負, 本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先 (2 名)
 応募締切 平成 7 年 1 月 6 日
 送付先 〒 820 飯塚市大字川津 680-4 九州工業大学情報工学部電子情報工学教室 笹尾 勤
 照会先 Tel.(0948)29-7675 Fax.(0948)29-2603 e-mail:sasao@cse.kyutech.ac.jp
 または, 藤居 仁 Tel.(0948)29-7669 Fax.(0948)29-7651 e-mail:fujii@cse.kyutech.ac.jp

●鹿児島大学工学部電気電子工学科

募集人員 助教授および助手各 1 名
 所属 通信システム工学講座
 専門分野 通信システム (通信網, 通信理論, 通信方式, 通信伝送機器, 回路等), 無線通信 (無線通信, 衛星通信, アンテナ, 伝搬, 電波応用等) のいずれか
 応募資格 博士号取得者で大学院博士後期課程の担当が可能な方 (助教授)
 博士号取得者が望ましい (助手)
 着任時期 決定後なるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (コピー可), 推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先 (2 名)
 応募締切 平成 7 年 1 月 31 日
 送付先 〒 890 鹿児島市郡元 1-21-40 鹿児島大学工学部電気電子工学科長 大串哲彌 書留にて送付
 照会先 通信システム工学講座 伊藤士郎 Tel.(0992)85-8416 Fax.(0992)56-7356

●神奈川工科大学情報工学科

募集人員 教授 1 名
 専門分野 情報通信, コンピュータネットワーク
 応募資格 博士号取得者
 着任時期 平成 8 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷
 応募締切 平成 7 年 1 月 31 日
 送付先 〒 243-02 厚木市下荻野 1030 神奈川工科大学情報工学科 小平邦夫
 照会先 Tel.(0462)41-1211 Fax.(0462)42-8490

●静岡大学工学部システム工学科

募集人員 助教授または講師 1 名
担当科目 コンピュータ基礎, プログラミング, 知識処理システム, シミュレーション技法のいずれか
専門分野 情報工学またはその関連分野
応募資格 博士号取得者(含, 見込)で 35 歳以下の方
着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷(コピー可), 可能ならば推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先, 教育・研究についての抱負(2000 字程度)
応募締切 平成 7 年 1 月 31 日
送付先 〒432 浜松市城北 3-5-1 静岡大学工学部システム工学科 渥美邦夫
照会先 システム工学科 新妻清三郎 Tel.(053)471-1171 (ext.4490)

●関西大学工学部管理工学科

募集人員 助教授および専任講師各 1 名
専門分野 OR, 情報処理, システム工学, 生産管理, 人間工学およびこれらの関連分野
応募資格 博士号取得者で着任時 40 歳未満の方(助教授)
博士号取得者(含, 見込)で着任時 35 歳未満の方(専任講師)
着任時期 平成 8 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷(コピー可), 可能ならば推薦書, 今後の研究・教育に対する抱負
応募締切 平成 7 年 3 月 31 日
送付先 〒564 吹田市山手町 3-3-35 関西大学工学部管理工学科 友田泰行 「教員応募書類在中」と朱書き書留
照会先 Tel.(06)388-1121, 368-0885 (ダイヤルイン) Fax.(06)330-3154

会費・購読費の預金口座自動振替納入について

平成 7 年度会費・購読費のご納入には, 便利な預金口座自動振替をおすすめします。

正会員(一括扱いの会員は除く)の方は, 会費・購読費を毎年 3 月 27 日(休日の場合は翌営業日)にご指定の銀行口座から自動振替により納入することができます(研究会登録費は取扱いません)。

希望される方は, 所定の預金口座振替依頼書(当月号本欄に添付)にてお申し込みください。

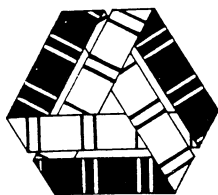
平成 6 年度会費・購読費の納入について(お願い)

本年度の会費・購読費未納の方へ, 本誌 6 月号でご納入の案内を掲載し, 6 月下旬に郵便振替用紙を発送いたしました。が, まだ未納の方が 2000 名程おられます。11 月中旬に再度郵便振替用紙を発送いたしますので早急にご納入くださいますようお願いいたします。

お近くに会費・購読費未納の方がおられましたら是非お声をかけていただきますようお願いいたします。(なお, 未納の方は学会誌・論文誌の発送を 9 月号より停止しております。)

また, ご納入が遅れますと停止期間中の学会誌・論文誌をお送りできないことがありますのでご注意ください。

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1.開催日 2.会場 3.問合せ先 4.その他

国際会議

24th IFTDO World Conf. and Exhibition (059)

1. September 11-14, 1995
2. Helsinki, Finland
3. HENRY r.y. Eteläranta 10, FIN-00130 Helsinki
Tel.+358-0-171 725 Fax.+358-0-171 436

1995 Symposium on VLSI Circuits (060)

1. 1995 年 6 月 8 日（木）～ 10 日（土）
2. 京都グランドホテル
3. 共催：応用物理学会 VLSI シンポジウム委員会
問合せ先：日本学会事務センター Tel.(03)5814-5800
4. 論文締切：1995 年 1 月 9 日（月）

1995 Symposium on VLSI Technology (061)

1. 1995 年 6 月 5 日（月）～ 8 日（木）
2. 京都グランドホテル
3. 共催：応用物理学会, The IEEE Electron Society
問合せ先：日本学会事務センター Tel.(03)5814-5800
4. 論文締切：1995 年 1 月 9 日（月）

光コンピューティング国際会議 (062)

1. 1996 年 4 月 21 日（日）～ 25 日（木）
2. 仙台国際センター
3. 共催：応用物理学会他
問合せ先：東京大学工学部計数工学科 石川正俊
Tel.(03)5800-6569 Fax.(03)5800-6969
e-mail:ishikawa@k2.t.u-tokyo.ac.jp

The 3rd Pacific Conf.on Computer Graphics and Applications (063)

1. August 21-24, 1995
2. Seoul, Korea
3. Sung Yong Shin Computer Science Department, KAIST
373-1, Kusung-dong, Yusung-ku, Daejeon 305-701,
South Korea e-mail:syshin@cs.kaist.ac.kr
Tel.+82-42-869-3528 Fax.+82-42-869-3510

第 11 回トロンプロジェクト国際シンポジウム (064)

1. 平成 6 年 12 月 5 日（月）～ 8 日（木），10 日（土）
2. 東京大学山上会館（文京区本郷）他
3. （社）トロン協会 Tel.(03)3454-3191

ISPAN'94 超並列アーキテクチャ、アルゴリズムとネットワークに関する国際会議 (065)

1. 1994 年 12 月 14 日（水）～ 16 日（金）
2. 石川ハイテクセンター国際会議場，金沢国際ホテル
3. 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
Tel.(0761)51-1148 Fax.(0761)51-1149 e-mail:ispan94@jaist.ac.jp
4. 参加費：会員 25,000 円 学生 10,000 円

国内会議

人間生活工学サミット

1. 平成 7 年 2 月 6 日（月）～ 7 日（火）
2. 大阪国際交流センター
3. （社）人間生活工学研究センター
Tel.(06)346-0234 Fax.(06)346-0456

平成 7 年電気学会産業応用部門全国大会

1. 平成 7 年 8 月 23 日（水）～ 25 日（金）
2. 日立シビックセンター（茨城県日立市幸町）
3. （社）電気学会 産業応用部門全国大会係
Tel.(03)3201-0983 Fax.(03)3201-1983

第 211 回講習会「携帯電話，PHS を支える精密技術」

1. 平成 6 年 12 月 9 日（金）
2. 家の光会館（東京都新宿区市谷船河原町）
3. （社）精密工学会
Tel.(03)3362-1979 Fax.(03)3367-0994
4. 参加費：会員 28,000 円 非会員 42,000 円
学生会員 無料

第 15 回計算電気・電子工学シンポジウム

1. 平成 7 年 3 月 23 日（木）～ 24 日（金）
2. 日本科学技術連盟講堂他（東京都渋谷区千駄ヶ谷）
3. 日本シミュレーション学会事務局
Tel.(03)5379-1236 Fax.(03)3225-1813

第 10 回記念 O A 全国総合大会

1. 平成 7 年 2 月 27 日（月）～ 28 日（火）
2. 虎ノ門バストラル（東京都港区）
3. （社）日本オフィスオートメーション協会
Tel.(03)3434-6677 Fax.(03)3459-1704

平成 6 年度第 3 回 O R セミナー「確率過程とファイナンス」

1. 平成 6 年 11 月 22 日（火）
2. 東京ガス本社（東京都港区海岸）
3. （社）日本オペレーションズ・リサーチ学会
Tel.(03)3815-3351 Fax.(03)3815-3352

- 4.参加費: 会員 22,000 円 学生会員 5,000 円,
非会員 30,000 円

第 21 回知能システムシンポジウム

- 1.平成 7 年 3 月 29 日 (水) ~ 30 日 (木)
- 2.東京工業大学百年記念館 (東京都目黒区大岡山)
- 3.(社) 計測自動制御学会
Tel.(03)3814-4121 Fax.(03)3814-4699
- 4.発表申込締切: 平成 6 年 12 月 17 日 (土)

第 25 回信頼性・安全性シンポジウム

- 1.平成 7 年 7 月 6 日 (木) ~ 7 日 (金)
- 2.日本青年館 (東京・千駄ヶ谷)
- 3.(財) 日本科学技術連盟 第 2 事業部 R&MS 係
Tel.(03)5379-1224 Fax.(03)3225-1814

第 44 回システム制御情報講習会「マルチメディア社会—魅力・現状・将来—」

- 1, 2. (大阪)
平成 7 年 2 月 2 日 (木) ~ 3 日 (金)
大阪府教育会館 (大阪市天王寺区東高津町)
(東京)
平成 7 年 2 月 8 日 (水) ~ 9 日 (木)
三田ホール (東京都千代田区神田駿河台)
- 3.システム制御情報学会
Tel.(075)751-6413 Fax.(075)751-6037
- 4.聴講料: 会員 36,000 円 学生 16,000 円
非会員 51,000 円

第 55 回ロボット利用技術講習会

- 1, 2. (東京)
平成 6 年 12 月 1 日 (木) ~ 2 日 (金)
電機工業会館 (東京都千代田区永田町)
(大阪)
平成 6 年 12 月 8 日 (木) ~ 9 日 (金)
大阪府谷町福祉センター (大阪市中心区)
3. (社) 日本ロボット工業会
Tel.(03)3434-2919 Fax.(03)3578-1404
- 4.参加料: 協賛会員 25,000 円 一般 26,000 円

編集室



会員の声

(学会誌 9 月号について)

・「無故障ソフトウェアを開発するためのクリーンルーム手法紹介」は良かった。本来特定メーカの技術については、なかなか市販の文献では得られる情報が限られており、その点で、このような記事は貴重な情報源になる。SE を始めとする私たち一般の技術者にとって、多くのコンピュータ雑誌以上の情報源は今のところ日本ではこの雑誌しかないのですから、このような記事を沢山載せてほしい。

(光平 芳/中国日本電気ソフトウェア)

・特集「音楽情報処理」について、コンピュータ研究者側からのコンピュータ音楽についての考えや、基本的な技術などたいへん参考になった。できれば、芸術家、音楽家などが、コンピュータ音楽についてどういう位置付けをしているのか、どういう評価を得ているのか、コンピュータによる伴奏支援についての音楽家の意見なども知りたいと思う。

(匿名希望)